

第七十四回
帝國議會
貴族院

宗教團體法案特別委員會議事速記録第二號

昭和十四年一月二十六日(木曜日)午後一時三十七分開會

○委員長(伯爵柳原義光君) ソレデハ是ヨリ昨日ニ引續イテ委員會ヲ開キマス

○子爵大河内輝耕君 私ハ昨日材料ノ請求ニ付キマシテ、一言政府委員カラデモ、大臣カラデモ、ドナラカラデモ宜シウゴザイマスガ、言明ヲ得テ置キタイト思ヒマスガ、

昨日臣民ノ義務ニ反スル行爲ガ、例ヘバ宗教ノ教理ニ反スルカト言ツテ、兵ニ召サレルコトヲ拒ンデ見タリ、或ハ尊信スベキ神社ニ對シテ禮拜ヲ缺ク、或ハヒドイニナルト、禮拜スベキモノニ禮拜ヲシナイト云フヤウナ始末ガアル場合ニハ、相當ノ……

法律上ソレヲ禁止若シクハ制限シ、或ハ制裁ヲ與ヘル法律ガアルカト云フコトヲ伺ヒマシタ處ガ、其ノ御答ガチヨット明瞭デナカッタカラ、ソレデヤアルナラ出シテ下サイト云フコトヲ、材料ヲ請求シテ置キマシタ、

又非公式ニ伺ツテ見ルト、サウ云フコトハ總テ道德ニ委シテ、法律デソレヲ禁止制限スルト云フコトハ今ノ所デハ無イノダ、斯ウ云フヤウナ御話デアッタノデアリマス、ソレナラバ、無イナラバ別ニ無イ材料ノ請求

ハシヨウガゴザイマセスカラ、私ノ方ハ材料ノ請求ハ止シマスガ、無イナラ無イト言フテ戴キタイ、ソレハ後デ差支ガ起リマスカラ、其ノ事ヲ言明シテ置イテ戴キタイノデアリマスガ、政府委員デ結構デアリマス

○政府委員(松尾長造君) 昨日私ガ申上ゲマシタ御答ガ甚ダ漠然ト致シマシテ、申譯ナイト存ジマスガ、神社ニ關スルコトデアリマスノデ、特ニ内務省ノ方トモ色々御相談申上ゲタノデアリマスガ、神社ト云フモノニ參拜スルト云フコトハ我々帝國臣民ノ當然ノ義務デアリマス、當然日本臣民トシテ神社ニ報本反始ノ誠ヲ效スベキ筋合ノモノデアリマス、ソレヲ法律ニ依ッテ斯ウ定メタ、ア、定メタカラ、其ノ義務トシテ消極的ニ詣ルト云フヤウナ性質ノモノデハナクシテ、只今仰セニナリマシタ通り、道德上ノ意味ニ於テ我々臣民ノ務トシテ報本反始ノ誠ヲ效スベキ對象ガ神社ニ在ル、斯ウ云フ風ニ解釋スベキデアルト云フ風ニ考ヘラレマスノデ、左様御了承ヲ願ヒタイト存ジマス

○子爵大河内輝耕君 私ノ申上ゲヤウガ惡カッタノデスガ、實ハ神社バカリデハナイ、廣ク臣民ノ義務ニ反スルト云フ意味ニ御取リナツテ戴キタイ、ソレニ付テハ矢張り神社ノ場合ト同ジク、外ノ方ニモナイト云フコトニ考ヘテ宜シイノデアリマスナ

○國務大臣(男爵荒木貞夫君) 昨日モチヨット實ハ御質問ノ範圍ガ明瞭デナカッタ爲ニ、私ハヤルベキモノガアレバ、竝行シテ一般法律ノ方ニ於テ、假ニ不敬ニ涉ル、或ハ甚シキコトデアレバ、治安維持法ニモ涉リマセウシ、又輕イコトデアレバ、警察令ノ取締モアル、其ノ行動ノ範圍、行爲ガ非常ニ影響ヲ及スノデアッテ、唯神社ヲ參拜シナイト云フコトノミニ對シテト云フヤウナコトデアレバ、是ハモウ制裁ハアリマセヌデゴザイマス、今ノ國民ノ道德上ノ責任ヲ盡スコトニナル、ソレヲ越エマシテ此ノ行動、或ハ意思表示ガ假ニ度ヲ越エテ參リマスレバ、例ヘバ神宮、御陵ノ如キ所ニ對シテノ問題デアルト、不敬罪ヲ構成スルコトガ法律ノ規定ニ出來テ居ルノデアリマス、輕イコトデアリマスレバ、警察令ニ依ッテ、例ヘバ祝祭トカ儀式トカ云フモノニ對シテ、ソレヲ妨害スルヤウナ意思デアレバ、警察令ガ之ヲ規定スルト云フヤウナコトデアッテ、一般ノコトデアレバ、唯特ニ參拜ヲシナイト云フコトデアレバ、制裁ハ無イノデアリマス、其ノ範圍ハチヨットハッキリシマセヌノデ、又其ノ行動ガハッキリシナイノデ、昨日ア、云フ風ニ御答シタノデアリマス、其ノ程度ニ於テハ今ノヤウナ重イコトニナレバ、不敬罪ト云フコトモ考慮セラレルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 範圍ハ此ノ前ノアノ宗教團體法案ノ中ニ一條アリマス、臣民ノ義務ニ反スルト云フコトガアル、範圍ハゾレヲ越シタノデアリマス、例ニ神社ヲ引イタモノデアリマスカラ、何ダカ神社ノコトニバカリ關係スルヤウニナツタノデアス、サウ云フ意味デナイ、ソレデ臣民ノ義務ニ反スルトハ、是ハ多種多樣デアリマシテ、一概ニハ言ヘナイノデスガ、凡ソ概念トシテハ、此ノ前チヤントソコニ法律ガ出テ居ル位デスカラ、分ッテ居ルノデアリマス、文部當局トシテハ御承知ノ譯デス、ソレデ前ニモ多少アルヤウニ思ヒマスカラ、其ノ問題ハ尙一ツ政府委員ノ方ニ於キマシテ、モウ一應御研究願ッテ置キマス

○田所美治君 委員長ニ議事進行上ノ關係

デ伺ヒマスガ、是ハ一般ノ質疑應答ガ濟ミ
マシタナラバ、簡單ナモノデアリマスケレ
ドモ、逐條のニオヤリニナリマスカト云フ
コトヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 其ノ考デゴザ
イマス

○田所美治君 サウデゴザイマスカ、ソレ
デハ其ノ時ニ又伺ヒマス

○男爵千秋隆君 文部省ニ設ケラレマシ
タル宗教制度調査會ニ於キマシテ、昨年末
答申ヲ致シタ要綱ト、今度ノ法案ニ現レタ
モノトノ差異ガアルヤウニ思フノデアリマ
ス、ソレハ一例ヲ申スト云フト、二十三條
ノ所ニ、宗教結社ガ届出ヲシナイ時ニ、尙
催告ヲシテ、ソレデモ聽カナイヤウナ時ニハ
罰スルト云フ規定ニナルノデアリマスガ、具
體のトシマシテハ、地方長官ハ其ノ宗教
結社ニ對シ教義ノ宣布及儀式ノ執行ヲ禁
止スルト云フコトガ出來ルト云フコトニ
ナッテ居ッタノデスガ、其ノ規定ガ此度ノ
法案ニハ現レテ居リマセヌ、是ハ制度調
査會ニ於テ相當審査ヲシマシテ、此ノ規
定ガ必要ナリトシテ、政府ニ於テモ受入
レラレテ答申ガ出來タノデアリマス、併シ
制度調査會ノ答申ト言ヒマスモノハ、御承
知ノ如ク調査會ハ諮問機關デアリマスカラ、

政府ノ方ニ於テ更ニ慎重審議サレテ、之ヲ
改メラレルト云フコトハ、アルベキコトカ
トモ考ヘルノデアリマスカラ、ソレニ付テ
何カ當局ニ於テ理由ガアリマスレバ、其ノ
理由ヲ御知ラセ戴イテ、且此ノ法案ニ付キ
マシテ、運用ト云フコトガ大切ト云フコト
ハ、既ニ昨日モ御話ニナッタ方モアルノデア
リマス、其ノ運用上之ヲ削除シテモ、差支
ナク十分ニ宗教結社ヲ視野ノ中ニ入レテ、
十分ニ之ヲ檢討シテ、保護スベキモノハ保
護シ、之ヲ取締ルベキモノハ取締ツテ、宗教上
ノ結社ヲ十分ナ機能ヲ發揮セシムルヤウニ
スルト云フコトガ出來ルノデアリマセウカ、
其ノ事ニ付テ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイと思
フノデアリマス、尙其ノ以外ニ於テ多少要
綱ト違フ所ガアルカノヤウニ思フノデアリ
マスガ、其ノ違フ所ガ若シアリマスレバ、瑣
末ノ點デアリマシテモ御指示願ッテ、我々此
ノ法案ノ審議ノ上ニ於キマシテ、都合好ク
致シタイト考ヘテ居リマス、其ノ點ヲ政府
委員カラデ結構デアリマスガ、御伺ヒ致シ
マス

○政府委員(松尾長造君) 只今仰セノ通りニ、
宗教制度調査會ガ御答申ニナリマシタ要綱

タノデアリマスノデ、只今仰セノ通りニ、
宗教制度調査會ノ答申ト今回ノ案ガ多少
違ッテ居ル所モアルノデゴザイマス、一例ヲ
二十三條ニ御引キナリマシタノデゴザイ
マスガ、此ノ二十三條モ、御指摘ノ通り、
宗教制度調査會ノ答申デハ、御手許ニゴザ
イマス二項デナクシテ、第三項ト第四項ガ
アッタノデゴザイマス、第二項ト致シマシ
テ、「宗教結社ノ代表者第一項ニ規定スル期
間内ニ届出ヲ爲サザルトキハ地方長官ハ之
ニ對シ届出ヲ爲スベキ旨ヲ催告スルコトヲ
得ルコト」、斯ウ云フ一項ヲ第三項トシテ加
ヘ、第四項ヲ一項ト致シマシテ「宗教結社
ノ代表者前項ノ催告ヲ受クルモ仍届出ヲ爲
サザルトキハ地方長官ハ其ノ宗教結社ニ對
シ教義ノ宣布及儀式ノ執行ヲ禁止スルコト
ヲ得ルコト」斯ウ云フ規定ガアッタノデアリ
マス、段々御答申ニ基キマシテ、法制局ト
モ協議ノ上研究ヲ重ネタノデアリマスガ、
先ヅ問題ニナリマシタノハ末項デゴザイマ
シテ、若シモ宗教結社ノ教義ノ宣布、儀式
ノ執行ガ之ガ安寧秩序ヲ妨ゲ、或ハ臣民タ
ルノ義務ニ反イタト云フ場合ナラバ禁止ス
ルノモ宜イデアラウガ、唯法律ニ規定ス
ル届出ヲシナカッタラト云ッテ、教義ノ宣
布、儀式ノ執行ヲ禁止スルト云フコトハ場

合ニ依ルト、違憲ノ沙汰ヲ惹キ起スト云ッ
ヤウナ議論ガ世上ニ現レナイトモ限ラナ
イ、是ハ危險ダカラ、斯ウ云フコトヲシナ
イ方ガ宜イデナイカ、ソレカラ第三項ハ第
四項ヲ引出ス爲ノ三項ノ規定デアリマス
カ、是ハ四項ガアレバ三項ガ必要デアルケ
レドモ、四項ガナケレバ三項ハ必要デナイ
デヤナイカ、又三項ノ如キハ必ズシモ、
法律ノ規定ヲ要シナイデモ出來ルコトデア
ルト云フヤウナ譯デ三項、四項ヲ削ッタノデ
アリマス、併シ三項、四項ヲ存置スルト云
フコトニ付テノ精神ハ誠ニ是ハ御尤ナコト
デアル、斯ウ云フヤウナ宗教結社ノ中デ惡
質ノモノハ場合ニ依ツテハ斯ウ云フ規定ガ
アッテモ届出ヲ致サナイ、或ハ秘密結社の
地下ニ潜行スルト云フコトモ或ハ考ヘラレ
ルコトデアルカラ、斯ウ云ッタヤウナ態度ヲ
以テ監督ニ臨ムト云フコトハ、是ハ誠ニ能
ク精神ガ分ル、併シマア右ノヤウナ事情デ
アルカラ、寧ロ斯ウ云フ二項ハ止メテ、サウ
シテ別途ノ方法ヲ講ジタラ宜イデヤナ
イカト云ッテ、此處ノ二項ヲ削リマシテ
第二十七條ヲイデクッタノデアリマス、
第二十七條ハ宗教制度調査會ノ案ニ依
リマス、二十三條ノ第一項ノ届出ヲ爲サ
ズ、又ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセザルトキ

ニ於テハ百圓以下ノ罰金、斯ウ相成ツテ居
タノデアリマスガ、寧ロ二項ヲ削ツタ代リニ
斯ウ云フ場合ハ罰ヲ重クスル方ガ宜イデヤ
ナイカト云フヤウナ關係デ、百圓ノ罰金ヲ
三百圓ノ罰金ニ改メタノデアリマス、斯ウ
云フ風ニシタ方ガ寧ロ穩當デアラウト云フ
ノデ訂正シタノデゴザイマス、其ノ他ノ點
ニ於キマシテドウ云フ點ガ變ツタカト云フ
御質問デアリマスルガ、一通リ簡單ニ申上
ゲマス、アツチコッチ大分訂正致シテ居リ
マスガ、アラ方ハ字句ノ訂正デゴザイマス、
第一條、第二條ハ字句ハイデクリマシタケ
レドモ、文章ノ字句ノ意味ハ少シモ變ツテ
居リマセヌ、第三條ニ於キマシテ、第二條
第一項デ「法人タラントスルモノニ在リテハ
其ノ旨ヲ明ニシ」ト云フコトヲ附加ヘテ置キ
マシタ、ト云フノハ教派、宗派又ハ教團ハ
任意法人デゴザイマスノデ、法人デナイモ
ノモアル、ダカラシテ法人ノ教派ナノカ、
非法人ノ教派ナノカ、其ノ區別ヲハッキリス
ル方ガ適當デアルト云フ所カラ其ノ設立ノ
認可申請ノ際ニ、法人タラントスルモノニ
在リテハ其ノ旨ヲ明カニシロト云フコトヲ
書イタノデゴザイマス、ソレカラ同様ノ點
ハ其ノ他ニモチヨク「ゴザイマス、第四
條アタリモ字句ノ訂正デゴザイマス、ソレ

カラ第五條モ精神ハ少シモ變ツテ居ナイト
思ヒマス、ソレカラ第六條ニ於キマシテモ、
只今申上ゲマシタ詰リ寺院ハ法人デゴザイ
マス、ケレドモ、教會ハ任意法人デゴザイマ
スノデ、矢張り法人タラントスル教會ニ在
リテハ其ノ旨ヲ明カニスルコト云フコトヲ附
加ヘテ置キマシタ、ソレカラ第六條ニ於キ
マシテ所謂教派、宗派、教團ニ屬セザル教
會ノ規定ガゴザイマス、是ハ管長トカ教團
ノ統理者ノ承認ヲ經ルコトガ出來ナイ狀態
ニアル譯デアリマスカラ、ソレ等ヲ除外ス
ル意味ニ於キマシテ、六條ノ本文ニ第二項
第五號ノ教會ヲ除クノ外ト云フ文句ヲ入レ
タノデゴザイマス、サウ云ツタヤウナ關係
ガ六條ニ於テ現レテ居リマス、第七條モ變
化ガゴザイマセヌ、ソレカラ第八條ニ於キ
マシテ、調査會ノ御答申ニハ寺院ニハ三人
以上ノ檀徒總代ヲ置ク、教會ニハ三人以上
ノ信徒總代ヲ置ケト云フ規定ガアツタノデ
ゴザイマス、之ヲ打ッテ一丸ト致シマシテ、
「寺院及教會ニハ檀徒、教徒及信徒ノ總代」
ト斯ウ云フ風ニ纏メマシタ、第九條モ意味ハ
變リマセヌ、「以下單ニ總代ト稱ス」トシタ
方ガハッキリスルコト云フノデ、サウ云フ風
ニ纏メマシタ、ソレカラ第十條モ殆ド變ッ
テ居ナイト存ジマス、十一條モ變ツテ居リ

マセヌ、十二條モ書キ方ヲ改メタダケデゴ
ザイマス、十三條ニ所謂法人ノ宗教團體ノ
登記デゴザイマスガ、是ハ元ハ第五條ニ置
イテゴザイマシタ、其ノ第五條ニ無イノデ
ハ八條ニ法人ニ關スル登記ヲ置イテゴザイマ
ス、サウシテ置イテ其ノ規定ヲ後ノ方デ以
テ寺院及法人タル教會ニ準用サレテ居ツタ
ノデゴザイマス、併シナガラサウ云フコト
ヲスルヨリモ寧ロ法人タル宗教團體トシテ
一括シタ方ガ宜イト云フコトト、ソレカラ
他ノ立法例モアルコトデアルカラ、斯ウ
ゴタノ「書カナイデ、御手許ニアリマスル
十三條ノヤウニ書イタ方ガアツタリスル、
ハッキリスルト云ツタヤウナコトデ、他ノ立
法例ニ徴シテ文章ヲ改メマシタノデ、内容
ハ少シモ變ツテ居ラナイト存ジマス、第十四
條、第十五條、是モ殆ド變リハアリマセヌ、
第十六條ハ是ハ御答申ニ依リマス「宗教團
體又ハ教師ノ行フ宗教ノ教義ノ宣布若ハ儀
式ノ執行又ハ宗教上ノ行事ニシテ」トゴザイ
マシタガ、是デハハッキリシナイ寧ロ行事ガ
ト言ツタ方ガ宜カラウ、ソレカラ「安寧秩序
ヲ妨ゲ又ハ臣民タルノ義務ニ背クトキハ主
務大臣ハ之ヲ制限シ若ハ禁止シ、一年內ノ
期間ヲ限リ」トアリマシタガ、十七條ニ照合
ハシテ見ルト、十七條ノ場合ニ於キマシテ

ハ法令ニ反シタ場合ニ一年以内ノ業務停止
ヲ命ジテ、十六條ノ方ガ罪狀重イノデハナ
イカ、サウ云フ場合ニハ寧ロ何ト云ヒマス
カ、十七條ノ一年間トノ釣合ガ取レルヤウ
ニ、寧ロ二年ニシタ方ガ宜イト云フノデ二
年ニ改メタノデゴザイマス、十七條モ内容
ハ變ツテ居リマセヌ、十八條モ變ツテ居リマ
セヌ、十九條ハ主務大臣ハ本法ノ規定スル
權限ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルトアツタ
ノヲ、「命令ノ定ムル所ニ依リ」ト致シマ
シタ、是ハマア委任事項ハ一般ニ周知セ
シムル必要ガアルカラ、寧ロ命令ノ定ム
ル所ニ依ッテ委任シタ方ガ宜イダラウト云
フ關係モアリマシテ、命令ノ定ムル所ニ
依リト云フ文字ヲ入レタノデゴザイマ
ス、ソレカラ第二十條ニ於キマシテハ訴
願制度ノ規定デゴザイマス、是ハ第五條ノ
五項ノ場合モ訴願ノ途、訴訟ノ途ヲ開クト
云フコトハ妥當デアル、第五條第五項ノ場
合ヲ追加シタノデゴザイマス、二十一條ハ
調査會ノ御答申ノ際ニハ第二項ガゴザイ
マシテ、前項ノ規定ハ破産ノ場合ニ之ヲ
適用セズト云フノガアツタノデゴザイマ
ス、是ハ第二項トシナイデ、是ハ第一項
ノ中ニ織込マウデヤナイカト云フノデ、
ソコニ不動産先取特權、抵當權、質權ノ

實行ノ爲ニスル場合ヲ除クノ外トゴザイマシタガ、其ノ次ニ「又ハ破産ノ場合」ト云フ字ヲ入レマシテ一項ニ纏メタノデゴザイマス、第二十二條ハ變化ゴザイマセヌ、二十三條ハ最初ニ御説明申上ゲタ關係係最後ノ二項ヲ削ツタ譯デゴザイマス、二十四條モ二十五條モ變テ居リマセヌ、ソレカラ第二十六條ハ文章ライデクツタ方ガ宜イト思ヒマシテ、二月以内ノ懲役若ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ストアツタノヲ、今日ノ行政法規ニ基ク他ノ立法例ニ徴シマシテ、司法省ト相談ノ上二月以下ノ懲役若ハ六月以下ノ懲役、三百圓以下ノ罰金ヲ五百圓以下ノ罰金ニ改メタノデゴザイマス、ソレカラ先程ノ二十三條ノ最後ノ二項ヲ削ツタ關係上、ソレニ照應致シテ居リマス所ノ罰則ヲ二十六條カラ削除致シテ居リマス、二十七條ハ先程申上ゲタヤウナ關係係二十三條ノ罰金ヲ三百圓ニ殖ヤシテ居リマス外ニ、此ノ二十七條ニ纏メテ書イテアツタノデ二十八條ニブチ込シテ始末ヲシタト云フノガゴザイマス、二十八條、二十九條アタリハ大シタ變リハアリマセヌ、三十條ハ廢止ノ規定デゴザイマスガ、是ハ最初ハマダ一竝シテ居リマシタケレドモ、之ヲ一々原文ニ付テ法制局ト立會ノ上デ審査ヲ致シマシタ處ガ、殆ド

全部ガ全部法律ノ力デナケレバ廢止ノ出來ナイモノデハナイ、寧ロ此ノ中デ明治六年太政官第二百四十九號布告、明治十年太政官第四十三號布告、ソレカラ最後ノ明治十七年太政官十九號布達、是ダケガ財産ニ關スル制限デアリ、或ハ結社ニ關スル制限ノ規定デアルカラシテ、法律ヲ以テスルニアラザレバ廢止ガ出來ナイノデアル、他ノ條文ハ是ハ勅令若シクハ省令デ廢止ガ出來ルカラ、サウシトラ宜イデヤナイカト云フノデ以テ、タツタニツガ殘ツタ譯デゴザイマス、ソレカラ三十一條モ變テ居リマセヌ、三十二條モ字句ライデクツタ程度デゴザイマス、三十三條モ字句ライデクツタ程度デゴザイマス、三十四條又サウデゴザイマス、三十五條モ字句ライデクツタ程度デゴザイマス、三十六條モ精神ハ少シモ變テ居リマセヌ、サウシテサッキノ罰則ノ中ニ入ッテ居ツタ罰則ヲ、此ノ點ダケニ關係致シマスカラ此處ニ引張ッテ來タ譯デアリマス、最後ノ三十七條登錄稅法ノ改正ハ、最初三十一條トシテ御答申ニナッテ居リマスケレドモ、登錄稅法ノ改正ダカラ、是ハ最後ニ廻シタガ宜カラウト云フノデ最後ニ廻シマシタ上ニ、第一項ガ加ツタノデアリマス、是ハ登錄稅法ノ第二條及第三條ノ二ノ中ニ、現ニ

寺院、祠宇、佛堂ト云フ言葉ガアリマス、若シモ本法ガ施行ニナリマスナラバ、祠宇ハ法人タル教會トナリ、佛堂ハ寺院ニ屬スルカ、寺院若シクハ法人タル教會或ハ非法タル教會ニ相成ル譯デアリマス、祠宇、佛堂ト云フ名稱ハ無クナル譯デアリマスカラシテ、此ノ儘ニシテ置クト困ル、故ニ是等ニ矢張り輕イ程度ノ稅率ヲ課スル爲ニハ、法人タル宗教團體ト、包括的ノ名稱ニ變ヘナケレバイケマイト云フノデ以テ第一項ガ追加サレマシタヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ第三十七條ノ末項、是亦調査會ノ御答申ニハ無カッタノデアリマスルガ、是モ綿密ニ調べテ見マスルト、所謂佛堂寺院ニ屬セズ、寺院若シクハ教會ナラザルモノノ不動産ニ關スル登記ガ二年内ニ矢張り起ルカモ知レナイ、サウ云フ場合ヲ救フ救済的ノ規定ト致シマシテ、是モ念ノ爲ニ入レタ方ガ宜カラウ、タツタ二年間ダカラ佛堂ガ新タニ登錄スルト云フコトハ無イカモ知レナイケレドモ、何分三萬五千ノ多數ノ佛堂ノ中ダカラ、サウ云フコトガ有ルカモ知レナイ、サウスルト恩典ニ漏レルカラ、タツタ二年間ノコトデゴザイマスケレドモ、此ノ末項ニ加ヘタ譯デゴザイマス、大體サウ云ツタ變リ方デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 御面倒デスガ、今ノハ大變混雜シテ居リマスカラ一ツ書イテ印刷ニシテ出シテ戴キマス、ドウゾ……
○田所美治君 今千秋男爵カラノ御質問ガアリマシテ、宗教調査會ノ關係ニ付テノ御尋ガアツタノデアリマスガ、私ハ逐條ノ所デ伺ツテモ宜イノデアリマスケレドモ、序デニソレニ牽聯致シマスカラ、一應茲デ御説明願ツテ置キタイノデゴザイマスガ、此ノ委員會デモ必ズヤ深い御研究ガアルコト存ズル條文ニ付テ説明ヲ願ツテ置キタイト思フノデアリマス、宗教制度調査會ニ於テ一番問題ニナリマシタノハ、此ノ宗教團體ノ法人ノ性質ノ問題デアリマスガ、法人ノ性質ヲ學問上カラ言フト色々論ゼラレマセウケレドモ、此ノ宗教團體法ニ依ッテ法人ニナツタモノヘ民法上ノ法人ノ規定ヲ準用スルト斯ウ云フコトニ十五條デナッテ居リマス、ソレデアアルカラシテマア準用スルト云フコトニナッテ居ルト云フト、宗教團體ガ破産ヲシタ場合ニ、法人ノ場合ニ、法人ノ宗教團體ガ破産ヲシタ場合ニ解散ヲスル、斯ウ云フ規定ガ五條ノ三項ニ載ッテ居リマス、「法人タル教派、宗派又ハ教團ハ破産ニ因リテ解散ス」ト、處ガ宗教團體ハ嘗ニ財産關係デ法人ニナッテ居ルヤウナ民法上ノ財團

法人ノ如キモノト違フテ、衆人ノ信仰ニ基イ
タ團體デアル、ソレガ法人ニナレバ即チ信
仰ヲ本トシタ法人デアル、宗教團體法ニ依ッ
テ特別ノ法人ガ出來タ、斯ウ云フモノデア
ルカラ、宗教團體ノ本質ニ出來得ルダケ適
合スルヤウニト云フ意味カラ破産ニ因ル解
散ト云フコトハナイヤウニシタイ、財産上
ノ能力ガ缺ケタ場合ニ直グニ其ノ宗教團
體、教派、宗派ト云フモノガ滅亡シテシマ
フ、支離滅裂ニナルト云フコトハ困ル、斯
ウ云フ議論ガ非常ニ長ク闘ハサレマシテ、
サウシテ其ノ揚句ノ答申ニハ、之ヲ即時決
定スルコトガムヅカシイノデ、當局ニ於テ
十分考慮シテ貰フ、關係ノ司法省ノ意見、
法制局ハ無論ノコト、ドウゾ其ノ邊ガ最モ
適應ニ規定セラルルヤウニ、斯ウ云フコト
ヲ希望シテ置イタノデアリマス、是ハマア
少シ管々シク思フノデアリマスケレドモ、
宗教委員デオアリニナラナカッタ方々ノ爲
ニソレダケノコトヲ申上ゲテ置イタノデア
リマス、然ルニ今度ノ法案誠ニ簡明デ、私
是ハ大體ニ於テハ結構ト存ジマスケレド
モ、五條ノ破産ニ因リテ解散スト、或ハ先
ノ方ノ寺院ニ關シマシテ、第十一條ニ「寺
院又ハ法人タル教會ハ破産ニ因リテ解散
ス」ト、斯ウ云フ規定ハ依然トシテ存置セ

ラレテ居ルノデアリマス、但シ其ノ時分ニ
調査會デ工夫ヲシマシタ案、即チ破産ヲシ
タ場合ニモ清算ノ目的ノ範圍外、清算ノ目
的ノ外ノ點デハ法人、非法人ノ教派、宗派
或ハ團體トシテ存續スルモノト看做ス、斯
ウ云フコトニ依ッテ信仰團體ノ漸ク餘命ヲ
維持スル、當時咄嗟ノ是ハ委員ト當局トノ
研究ニ依ッテ、サウ云フモノダケハ出來タノ
デアリマスガ、此ノ規程ヲ只今見マスト云
フト、教派、宗派、教團ハ設立認可ノ取消
ニ因リテ解散ス、斯ウ云フ規程ガモウ明カ
ニアルノデアリマスカラ、破産ノ場合ニ必
要デアレバソレハ主務大臣ガ設立認可ヲ取
消セバ宜イ、ソレデ所謂解散ト云フコトガ
出來ルノデアリマスカラ、此ノ清算ノ目的
ノ範圍外デハ非法人トシテ存續スルト云フ
ヤウナ窮シタ特別規定ヲ設ケナイデモ、寧
ロ破産ニ因リテ解散ハシナイ、「破産ニ因リ
テ解散ス」ト云フ條項ヲ削リマシテ、サウシ
テドウシテモ存立ガ出來スト云フモノニ於
テハ、主務大臣ガ設立認可ノ取消ヲスレバ
宜イ、斯ウ云フコトデ、或ハ司法省トカ、
法制局トカニ意見ガ當時モアッタノデアリ
マスガ、其ノ目的ハ設立認可ノ取消ト云フ
「デイスクレション」ニ依ッテ處分ヲスレバ
解散ノ目的ハ達スル、斯ウ云フコトノ方ガ

第五條ノ四項ノヤウナ窮シタ特別規定ヲ設
ケルヨリモ、破産ニ因ル解散ト云フコトダ
ケハ民法上ノ法人トハ違フノダカラ、ソレ
ハ宗教團體ノ本質ガ信仰ニ基イテ居ルモノ
デアルカラ、斯ウ説明ヲシテ行キマス方ガ、
今度ノヤウナ法案ガ出來ルト云フコトニナ
レバ非常ニ明瞭デ適切デヤナイカト、斯ン
ナニ考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ガ、從
來ノ點ガ矢張り我々ノ希望ノヤウニ、當時
ノ委員ノ希望ノヤウニ全會一致ノ是ハ希望
デアッタノデアリマス、教派、宗派、教團ニ
付テ然リ、寺院ニ於テハ尙然リ、寺院ニ付
テ尙一層強い希望ヲ有ッテ居ッタ委員モアッ
タノデアリマス、斯ウ云フコトデ數回終始
シタ問題デアッタノデアリマスガ、何故ニ是
ハ法制局、司法省等ノ協議ガ成立タナイデ、
依然トシテ當時咄嗟ノ間ニ考出シタヤウナ
五條ノ四項ノヤウナ規定デ其ノ儘ニナッ
テ居ルノカ、斯ウ云フコトヲ此ノ際私ハ
五條ニ行ッテカラ伺ハウト思ッテ居リマシ
タガ、千秋男爵ノ御質問ト同ジコトデー
番重要ナ事項ニ付テ殘ッテ居リマスカラ、
御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、要スルニ私
ノ趣意ハ、設立認可ヲ取消スコトニ因ッテ解
散ス、ト云フ規定ガアレバ、破産ニ因リテ
解散ス、ト云フコトノ規定ヲ御削リニナッテ

居ッタラ、ソレデ此ノ本案ノ目的ノ通りニ出
來ル、主務大臣ガ、到底イカス、財産上ノ
能力ハナイノミナラズ、信仰モ缺乏シテ居ッ
テ、何年待ッテモ、ソレハ再ビ更生ガ出來ヌ
ト云フヤウナ見込ノアル場合ニ於テハ、設
立認可ヲ取消セバ宜イ、其ノ規定ガ嚴然ト
シテアルノデアリマスカラ、破産ニ因リテ
直チニ解散ス、斯ウ云フコトニナッタラ非常
ニ困ル、寺院ノ中ニハ幾十百、直チニ破産
ノ状態ニナッテ現存シテ居ルモノガ幾ラア
ルカ分ラナイ、甚シク申シマスレバ、教團、
宗團、宗派ノ中ニモ、現存シテ居ルモノノ
中ニモ、財産能力ノ上カラ見レバサウ云フ
状態ノモノモ必ズ絶無デハナイダラウト思
フ、其ノ邊ニ付テ此ノ際一應御説明ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○國務大臣(男爵荒木貞夫君) 只今ノ御説
ハ御尤ナ御主張デアリマシテ、調査會ノ時
ニモ承リ、宗教ヲシテ眞ニ活躍セシムル爲
ニハ營利團體ト異ッタ状態ヲ明カニシタイ
ト主務大臣トシテモ考ヘタノデアリマス、
サウシテ只今御指摘ノヤウニ、此ノ破産、
解散ノ一項ヲ除キマスレバ其ノ點ハ明瞭ニ
ナル、又相當ノ理由モアリマスケレドモ、
色々立法上ノ技術其ノ他ノ關係ガアリマシ
テ、此ノ點ハ後ニ宗教局長カラ詳シクハ申

述ベサセマスガ、宗教ガ破産ノ爲ニ直チニ解散スルト云フコトハ、是ハ當然アリ得ベカラズ、又シテハナラヌコトデアリ、法人トシテノ資格ヲ失ッテ、更ニ其ノ間ニアルモノモ宗教ニ對スル性質カラ、或ハ檀徒、信徒、又國家トシテモ最モ教化ニ十分貢獻ヲサレテ居ル立派ナ宗教トシマスレバ、此ノ破産ニ至ラザル方法ヲ第一ニ講ズル、是ハ運用ノ方法、サウシテ斯ウ云フ條文ガ立法上已ムヲ得ストシテモ、運用ハ其處ニ宗教ノ本質ヲ生カス爲ニ出來ルダケサウ云フヤウナ手段ヲ盡ス、又盡スベキデアリ、檀信徒ガ斯ウ云フモノヲ助ケナケレバナラヌモノガアレバ、助ケテ生キテ行クコトニ依ッテ信仰ニ依ル宗教ト云フモノガ初メテ其ノ光彩ヲ放ツノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘマシテ、是ガアッテモ運用ニ於テ出來ヤシナイカ、又ヤラナケレバナラス、況ヤ法人カラ非法人ニ行ク間ニ、又非法人トシテアル間ニ必要ガアレバ、更ニ又元ニ戻ス工夫モアリ、結局破産ニ因リ宗教ソレ自體ガ解散スルト云フヤウナコトハナイノデアリマス、寺院ノ場合ニ於テハ若干變リマスガ、若シサウ云フモノヲ見放シテシマフヤウナ宗教デアラナラバ、是ハ誠ニ宗教トシテノ資格モ少イノデアリ、國家モ之ヲ保護セズ、信

徒モ見捨テルモノデアレバ、恐ラクサウ云フコトハ餘程ノコトダナケレバナラナイダラウ、運用ニ依ッテハ只今御指摘ノコトハ十分ニ精神ヲ生カスヤウニシタイ、實ハ斯ウ考ヘタノデアリマスガ、尙此處ニ至リマシタ立法其ノ他ノコトニ付テハ宗教局長カラ御答ヘ致サセマス

○政府委員(松尾長造君) 只今仰セニナリマシタヤウナ経緯ハ確カニアッタノデゴザイマス、實ハ之ヲ立案致シマス際ニ内輪話迄申上ゲテ相濟ミマセヌケレドモ、私共ノ方ノ原案ト致シマシテハ教派、宗派、教團ト云フモノハ是ハ宗教團體デアッテ、人一倍世間ニ對シテモ義理ヲ盡スベキ團體デアル、有ラユル法人ガ破産ヲシタ場合ニ於テハ解散スルト云フ立法例ニ多クナッテ居ル、況シテヤ精神的ノ團體デアル宗教團體ノコトデアルカラシテ、破産シテモ解散シナイト云ッテ居ルト云フコトハ如何ナモノデアラウカト云フヤウナ一般ノ人ノ内部ノ話デ教派、宗派、教團ハ破産ニ因リ解散ストシテ諮問ニ相成ッタノデアリマス、田所委員ガ今仰セニナリマシタル通りニ非常ニ重要ナ問題トシテ是ハ論議セラレマシテ、何トカ工夫ヲセヨト云フヤウナ宗教制度調査會ノ御指圖デアリマスノデ、私共ハソレニ從ッテ

或ハ司法省、或ハ法制局ト數回ニ互ッテ慎重ニ研究ヲ致シテ見マシタ結果斯ウ云ッタヤウナ意味ノ智慧モマア出テ來タヤウナ次第デアリマシテ、調査會ノ方ニモ御相談ヲ致シマシタ結果マア是ガ認メラレタ譯デアリマス、仰セノ通り是ガ出來マシタケレドモ、尙此ノ上トモ此ノ點ニ付テ研究ヲシロト云フ御註文ヲ確カニ承ッテ居ルノデゴザイマス、併シ何分ニモ私共ハ之ヲ作り出シマスル迄ニ可ナリ司法省、法制局トモ色々ト研究ニ研究ヲ重ネタノデゴザイマスガ、打開ケテ申上ゲマス、是以上ノ智慧ガ出ナカッタト云フヤウナ結果ニ相成ッテ居ル次第デゴザイマス、前後ノ事情大體斯クノ如クナッテ居リマス

○田所美治君 文部大臣ノ御考モ私ガ御尋シタコトト趣意ハ同ジデアルガ運用上デハ差支ナイト斯ウ云フコトデアルカラ、マア此ノ邊デ我慢ヲシテ置イタト云フ御話デアリマス、當時即チソレデ原案ガ出來テ居ッタノデアリマスガ、私ハ政府ノ關係當局ノ其ノ意見ニ對シマシテ彼此今此處デ申上ゲマセヌケレドモ、既ニ文部省ノ當局ハ本質上デ同様ノ考ヲ持ッテ居ルガ、運用上ハ是デモ行ク、破産ニ因ッテ直グニハ解散シナイ、清算ガ何年續キマスカ知ラスガ、清算範圍外ノモ

ノハ法人デ非法人、法人デナイモノトシテ矢張り置イテ置イテ存續シテアルモノト看倣シテ行ク、ソシナコトヲ今度此ノ立法ヲセラレル時ニ何モ御遠慮ニナル必要ハナイ、宗教團體ハ特別ノ宗教團體法ニ依ル法人デアル、破産ニ依ッテハ直グニ解散ヲセヌ、民法上ノ普通ノ財團法人ノ如キハ財團デアルカラ、或ハ社團法人モサウデアリマシテ、財産ニ依ッテ特別ノ法規ヲ決メテヤッテ居ル、宗教團體ハ信仰ガ根柢ニナッテ居ル、財産ハ一文モナクテモ宜イ、極端ニ言ヘバ極ク財産ノ單純ナ時代ニ於テハ金ハ一文モ要ラヌ、斯ウ云フモノダラウト思ヒマスネ、ソレナラバ五條デ運用上デハ破産ニ依ッテ場合ニハ不都合ナ場合ニハ、設立認可ヲ取消ス、必要ナ場合ニ斯ウ云フコトニシテ置キマシタラ、設立認可ノ取消ヲスレバ解散ハ宜イノデアリマス、ドウモ斯ウモ仕方ガナイ、信用モ薄弱デアアル、金モ破産シテ居ル、斯ウ云フモノハ即チ設立認可ヲ取消ス、但シ破産ニ依ッテ直グニ直接解散スルト云フ、他ノ民法上ノ法人ノ如キモノデハナイ、斯ウ云フ風ニシテ御置キニナリマス方ガ、今制定スル場合デアリマスカラ、誠ニ明瞭デ適切デアアル、寺院ノ方ハ當然法人ダカラ困ル、斯ウ云フコトガアルカモ知レマセヌ、

是モ亦「寺院又ハ教會ハ設立認可ノ取消ニ因リテ解散ス」ト、ソレハ或條件ヲ加ヘテモ宜ウゴザイマセウ、破産ノヤウナ財産上ノ能力ガナイ場合、信仰ノ薄弱ナ場合ハ設立認可ヲ取消ス、サウスレバ解散シテシマウ、斯ウ云フ規定ガ十一條ノ三項ニ嚴然ト記シテアル、ソレニ依レバ「破産ニ因リテ解散ス」ト云フコトヲ、何モ持ッテ來テ宗教團體ヤ寺院ナドニハ不適切ナ規定ヲ御加ヘニナル必要ハナイ、是ハ從來アルコトナラ何デアリマスケレドモ、今度はデ本法ガ成立チマスレバ新タニ出來ル思想ナデアリマスカラ、アトハ議論ニナリマスカラ逐條デ意見ハ申上ゲルコトニ致シマス、了解ニ苦シムト云フコトダケ申上ゲマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 大體ノ御質疑ハモウゴザイマセヌデ……

○子爵岡部長景君 此ノ法律ガ成立シタトスレバ、文部省トシテハ、大イニ、矢張り皆法人ニ申請スルヤウニ御獎勵ニナル御考デスカ、又サウスルコトガ實際根本精神ニ於テハ、大イニ宗教ヲ能ク國民精神指導ノ上ニ有效ナル活潑ナル働キラサセル、ト云フ御趣旨ハ能ク了解シタガ、果シテ法人ニナルト云フコトガ普通活躍スル爲ニドレダケノ效果ガアルノデゴザイマセウカ、一般ニ

經理モ何モ總テ立派ニ行ッテ居ル所ハ、別ニ法人ニナラウガナルマイガ、大シタ關係ハナカラウ、又詰リ貧弱ト云ヒマスカ、或ハオ寺ノ中ガ妙ナ坊サンガ來テ、オ寺ノ財産ヲ減茶苦茶ニシテシマフト云フコトヲ防グ意味ニ於テハ效果ガアルト思ヒマスケレドモ、立派ナ教團ト云フモノガ果シテ法人ニナッテ、ドレダケノ效果ガアルカト云フコトヲ御見込ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(男爵荒木貞夫君) 具體的ナ法人ニナツタラ斯ウト云フヤウナコトヲ指摘スルコトハ困難デアリマスケレドモ、法人ニ依ル信用、法人ニ依ル確實性ト云フモノガ、宜イコロ加減ナ世間ニ信用ノナイ結社、若シクハ外ノ淫祠邪教ニ近イモノデアルカナイカト云フコトノ判斷ニ、法人ニナツテ居レバ確定シタモノデ立派ナ信用ガアルト云フコトニナル、是ガ一番大キナ意味デアリマス、併シソレハ必要ガナイト云フコトナラバ任意法人ニシテ置キマス、ソコガ任意法人ニナツテ居ル所以デアリマス、其ノ邊ガ非常ニ御議論ノ出ル所デアリマスノデ、宗教各當事者ノ考ヲ容レテ、眞ニ活躍スルニ其ノ方ガ宜イト云フコトデアレバ之ヲ強ヒテ法人ニスルト云フコトハ規定シテ居ラヌデアリマス、併シ實際ニ本格的ニ言フ

ナラバ、法人ニシテ基礎ヲ固クシテ、世間ニ信用ノアル行動ヲ執ルノガ當然デハナイカト考ヘマス、ソレノ復雜多岐ナ各方面ノ信仰カラ來ルモノデアリマスカラ、其ノ邊ハ餘リ統制ヲシナイデ任意ニシテ置イタ方ガ宜カラウト云フ意味デアリマス、尙宗教局長カラ御答ヘ致シマス

○政府委員(松尾長造君) 今ノ御尋ハ法人ニナレバドウ云フ利益ニナルカト云フ御尋ニ伺ヒマシタデスガ、今迄ハ教派、宗派、教團等ハ法人ニナル途ガ開イテナイノデゴザイマス、從ッテ大變不便ヲ感ジテ居リマスサウデゴザイマシテ、已ムヲ得ヌモノデアリマスカラシテ教派、宗派自體ヲ法人ニナレナイカラナレナイ、其ノ代リニ此ノ身代リト申シマスカ、保護者ミタイノ意味ニ於キマシテ、民法三十四條デ維持法人ヲ主ナルモノハ作ッテ居リマス、維持法人ガ後見役ノヤウニナツテ人格ナリ教派、宗派ノ活動ガ間接的ニ行ハレテ居リマス、今後ハ維持法人ヲ強ヒテ作ル必要ガナクナルノデヤナカラウカ、其ノ他抽象的デアリマスケレドモ、財産權ノ主體ニナル獨自ノ經濟活動、法律活動モ行ヘルヤウニナルデアラウ、ソレカラ只今ノ處、教派、宗派等ガ法人デナイ爲ニ教派、宗派自體ガ何等カノ事業ノ主體ニ

ナルコトガ不可能ノ狀態ニアルノデアリマス、例ヘバ教派、宗派等ニ於キマシテ、學校ヲ經營スル、或ハ社會事業ヲスル、其ノ他ノ色々ナ公益事業ヲ營ム際ニ其ノ設立者ニナルコトガ不可能デアリマスカラ、自然教派、宗派ノ管長トカ、或ハ其ノ中ノ重要ナ人物ガ個人ノ名前ヲ以チマシテ設立者ニナツテヤッテ居ル、處ガ重要ナ人物ガ他ニ轉任ヲスル、或ハ宗派ノ管長ガ迭ルトカ云フコトニナリマス、一々其ノ手續ヲ致シマシテ設立者ノ變更ヲヤッテ居リマス、今後法人格ヲ獲得致シマシタナラバ何々派トカ、何々教トカ云フモノガ設立者ニナツテヤッテ居リマスノデ、何モサウ云ウゴテノシタ面倒クサイ手續ヲ履マナクテモ宜イノデヤナイカ、サウ云フコトモアリマス、ソレヨリモ何ヨリモ文部大臣ガ仰セニナリマシタヤウニ世間ノ信用ガ高マルト申シマス、トカ、第三者ガ安心スルト云フヤウナコトガ非常ニ利益デハナイカト思ヒマス

○子爵岡部長景君 矢張り當局トシテハ出來ルダケ勸誘獎勵ヲシテ法人ニ皆申請ヲサセルヤウナ御方針デ進マレルト云フコトニナリマス

○政府委員(松尾長造君) 實ハ此ノ宗教制度調査會ニ諮問ヲ致シマス際ニ原案ニ於キ

マシテハ本法ニ於ケル教派、宗教、教團ハ之ヲ法人トス、當然法人ノ規定ト致シテ置イタノデゴザイマス、其ノ精神ト言ヒマスカ、矢張り教派、宗派、教團ノ如キハ宗教團體中ニ於ケル最モ顯著ナル團體デアル、是等ガ活動致シマス場合ニ國家社會ニ對シテ責任アル活動ヲ擔當スルノハ現在ノ法制ニ於キマシテハ法人格ヲ獲得スルコトガ一番責任アル行動ヲ執レルグラウト云フ觀念

デ立案致シマシタノデゴザイマス、宗教制度調査會ノ御示シニ依リマシテ、中ニハ主體ニナルニハ矢張り微力ト申シマスカ、不十分ト云フカ、微力ナルモノモアルト云フノデ、任意法人ニシタラ宜カラウト云フコトデ任意法人ニシタノデゴザイマスルガ、併シナガラ右申シマスルヤウナ考ヲ當節持ッテ居リマスルノデ、成ルベク獎勵致シタイト思ヒマスケレドモ、斷ジテ無理ヲシテ是非ナレト云フコトト致サナイ積リデゴザイマス

○子爵岡部長景君 寺院ヲ當然法人ト認メラレルヤウニナッテ居ルヤウデスガ、財産ナドノコトニ付テハ餘リヤカマシイコトヲ言ハズ、總テ認メラル、方針デスネ、サウスルト破産ニ瀕シテ居ルモノモ寺院ノ中ニハナイデモナカラウト思ヒマスガ、ソレハ破

産ノ宣告ノナイ限りハ總テ法人ト云フコトデ行ク譯デアリマスカ

○政府委員(松尾長造君) 寺院ノ方モ非常ニ研究致シタノデゴザイマスルガ、是ハモウ非常ニ、昔カラヤレ御朱印地トカ、黒印地トカ云フモノヲ設ケマシテ、現ニ財產權ノ主體ニナッテ居ル事實ガ、長年續イテ居リマス、明治ノ御代ニナリマシテモ、サウ云フ狀態ガ續キマシテ、殊ニ民法施行法等ニ於キマシテ、明瞭ニ法人格ヲ獲得シタヤウナ恰好ニナッテ居リマスノデ、寺院ト云フモノハ、古來ノ傳統沿革ヲ考ヘテ見レバ、是ハ悉ク法人格ヲ有スル人格的存在ダト考ヘマシタノデ、其ノ傳統ヲ重ンジテ、是ハ當然法人ト致シマシタ、併シ御心配ノヤウナ點モ當然アリマスルケレドモ、敢テ此ノ第十一條ノヤウナ規定ニ止メマシタ所以ノモノハ、寺院ハ悉ク、全部ガ全部、宗派ニ所屬スルノデゴザイマス、從ッテ何ト申シマスカ、親掛リノヤウナ狀態デ、イザ債務超過等ガ發生シタ場合ニ於テハ、親デアアル宗派ニ於テ若干考慮スルナラバ、由緒ノアル寺院等ハ、ソシテ破産スルヤウナ狀態ニ陥ラナイデ済ムデアラウ、斯ウ云ツタ點カラ、十一條ノ恰好ニナッテ來タ次第デアリマス

○子爵岡部長景君 是ハ或ハ逐條カモ知レマセヌガ、チヨット思ヒ付イタノデ伺フノデスガ、立法ノ手續ノ問題デスケレドモ、三十七條ニ、登錄稅法ノ改正規定ヲ此ノ法律ノ中ニ入レルト云フコトハ、チヨット今迄斯ウ云フ立法例ハ承知シナイノデスガ、アリトスレバ惡例ヂヤナイカト思フノデスガ、單獨ノ登錄稅法ノ改正案トシテ御出シニナル方ガ、適當デハナイカト思フノデスガ……

○政府委員(松尾長造君) 此ノ宗教團體法案ノ中ニ仰セノ通り、第三十七條ノ登錄稅法ノ改正ガ一條挿マリマスコトハ、私共モ全然御同感ニ思ッタノデアリマス、處ガ大藏省ト相談致シマシタ處、登錄稅法ノ改正ハ、從來カラソレノ例ヘバ宗教團體法案ナラ宗教團體法案ノ中ニ於テ、ソレニ關スル限りノ範圍デ、改正スルコトニナッテ居ル、ダカラ詰リ宗教團體ニ關スル限りニ於ケル登錄稅ノ減免ニ付テハ、宗教團體法ノ中ニ規定スルト云フヤウニナッテ居ルカラ、サウ云フヤウニシテ吳レト云フノデ、仰セノ通り第三十七條ヲ見マス、チヨット宗教團體法案ニハ如何カト思ハレルヤウナ文字バカリ列シテ居リマスルケレドモ、サウ云フ經緯デスウ云フヤウニ入ッテ居ル譯デアリマス

○子爵岡部長景君 是ハ登錄稅法ニ特殊ノ例ナンデスカ、他ニハサウ云フ立法例ハ無イト思ッテ居リマスガ

○政府委員(松尾長造君) 大藏省ノ話ニ依リマスルト、登錄稅法ノ改正ハ皆斯ウ云フ風ニヤッテ居ルト云フコトデゴザイマス

○子爵岡部長景君 登錄稅法ダケニアル例デアツテ、他ノ法律ニハサウ云フ例ハ餘リナイト思ヒマスガ

○政府委員(松尾長造君) 私モ最初サウ云フ風ニ考ヘマシタカラ、實ハ前議會ノ案ニハ、昭和四年ノ團體法案等ニハ矢張り第二十二條ノ中ニブチ込シテ書イテアリマシタノデゴザイマス、故ニ其ノ方針デ研究ヲ進メテ參リマシタ處ガ、大藏當局ト交渉ノ結果、斯ウ云ツタヤウナ注文ガ出マシタノデ、斯ウ云フ形式ニナリマシタ

○男爵千秋季隆君 私ハ昨日速記ナシデ、運用上及調査材料ノコトニ付テ御伺シテ、速記ノナイ時ニ、當局カラ御話ヲ伺ッタノデアリマスガ、モウ一應簡單ニ、私モ申スコトニ足リナイコトモアリマシタシ、當局ノ御答モ少シクハッキリ伺ハナカッタ點モゴザイマスカラ、簡單ニ速記ナシニヤラレタイト思ヒマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(伯爵柳原義光君) 速記開始

○塚本清治君 モット根本的ニ伺ヒタイノ

デスガ、基督教ノ中ニ、日本ノ神社ニ参拜スルコトニ付テ、從來彼此問題ヲ起シタ者ノアルコトハ豫テ承知シテ居リマス、私ハ更ニ進ンデ、神社ニ参拜スルシナイト云フコトヨリモ、日本ノ神社ト云フモノニ付テ、日本民族ハソコニ神ト云フ御霊ノ存在ヲ前提トシテ之ヲ拜スルノデアリマス、之ヲ拜スル以上ニ、更ニ祈ル所ガアル、願フ所ガアル、申ス迄モナク神助祈念、即チ神ノ加護ヲ祈ル、基督教ノ一部デハ、動モスレバ神社ニ於ケル行爲ニシテ宗教行爲ニ類似スルモノヲ取締ツテ貫ヒタイト云フコトヲ要求スルモノガアル、其ノ意味ハ神ニ對シテ祈ル、或ハ形ノ上デ申シマスルト云フト御札ヲ戴クト云フヤウナコト、是即チ宗教的行爲デアアル、斯様ナ行爲ハ神社ト宗教ト紛淆セシムルカラ之ヲ取締ツテ貫ヒタイ、宗教團體法ト云フモノガ若シ成立スルナラバ、神社ニ於ケル斯クノ如キ宗教的行爲ト云フモノガ自ラ取締ラル、デアリマセウカト云フ質問サヘ、基督教ノ一部ノ人ニ提出スル者ガアル、ソコデ我々日本臣民トシテ考ヘテ居ルコトト、今ノヤウナ問題ヲ提出スル人トガ、日本ノ神ニ付テノ觀念ニ著シイ相違ガアル、我々ガ神社ニ参拜ヲ致シマスル

ノハ、祭神ノ御在世當時ノ、國家ニ對シ致サレタ御功績ヲ追慕シ敬慕シ、サウシテ感謝ノ念ヲ致スト云フコトニ止メナイデ、神ニ祈ッテ日本民族ノ發展ヲ期ス、神ニ祈ッテ國難ヲ救フト云フコト、神ノ加護ヲ祈ル、何處迄モ神様ト云フ無論人間以上ノ御霊ノ存在スルコトヲ信念ニ持ッテ、ソレデ此ノ人間以上ノ神靈ト云フモノガ、基督教ノ神デア、或ハ佛教ノ佛デアルト云フヤウナモノト、同ジデアアルカナイカ私共ハ分リマセヌ、私共ハ無論違ッテ居ルト思ッテ居リマスガ、兎モ角モ我々ノ祖先ガ亡クナッテモ七生報國ト云フ觀念ハ、我々民族ノ共通ノ性質デアアル、ソレ故ニ我々子孫タル者ハ、祖先ノ御霊ニ對シテ加護ヲ祈ル、國難ニ際ジ、或ハ家ノ災厄ニ遭ッテモ祈ル、祖先ノカト現在ノ國民ト相俟ッテ國運ノ發展、一家ノ繁昌ヲ圖ッテ行ク、ソレガ故ニ、是ハ私ノ考デスケレドモ日本國ノ強イノハサウ云フコトニモ原因シテ居ルト思フ、併シサウ云フ議論ハ姑ク措キマシテ、其ノ我々ノ祖先ハ死ンデモ神トナッテ我々民族ヲ助ケ、サウシテ子孫ノ發展ヲサセル、或ハ國家事アレバ之ヲ庇護シテ其ノ災厄ヲ免レシムル、或ハ其ノ繁榮ヲ致サセルト云フモノデアルト信ジテ居リマス、然ルニ若シモ耶蘇教ノ中

ニ、サウ云フ意味ノ神ノ存在ヲ前提トシナイ、サウ云フ前提デ以テ神社ヲ参拜スルコトヲシナイト云フモノガ、行爲ニ於テ現レルカ否ヤト云フコトハ姑ク措イテ、教其ノモノノ中ニアッタナラバ、是ハ容易ナラヌ事ダト思フノデアリマスガ、サウ云フ教ノ宗教ガ有リハシナイカ、ソレヲ私ハ伺ッテ見タイト思フ、無論是ハ政府委員デ宜シイノデアリマシテ、サウ云フ教義其ノモノニサウ云フ日本ノ、私ノ申スヤウナ神ノ信仰ヲ容サナイト云フ教ガアリハシナイカト云フコトヲ、多少私ハ疑ッタンデスガ、サウ云フモノガ有ルカ無イカ、伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(松尾長造君) 只今仰セニナリ

マシタヤウナ醇風美俗ヲ害スルヤウナ思想ヲ教義ト致シマスルヤウナ宗教團體ガアリハセヌカト云フコトニ承ッタノデアリマスガ、只今ゴザイマス神道十三派佛教五十六派ノ教義ニ於テハ、斷ジテサウ言ッタヤウナ思想ハナイト思ヒマス、基督教ニ付キマシテハ、只今教團ト云フモノガ認メラレテ居リマセヌノデ、教團全體ノ教義ト云フモノガ文部省ニ分ル途ハナイノデアリマス、併シナガラ個々ノ教會ニ付キマシテハ、是ハ悉ク地方長官ノ設立許可ヲ受ケテ居リマスノデ、其ノ教義等ハ大約分ッテ居ルノデアリマスガ、其ノ個々ノ教會ニ付テ通覽致シマスルニ、只今仰セニナッタヤウナ醇風美俗ヲ害スルガ如キ教義ハ無イト認メラレルノデゴザイマス、併シナガラ御指摘ニナリマシタ通りニ、往年基督教ノ一派ニ所屬スル者達ガ、神社ニ参拜ヲ唱ヘタト云フヤウナ不祥事ハ確カニアッタノデゴザイマス、併シソレハモウ數年前ノ話デアリマシテ、其ノ時大問題ニ相成リマシタ結果、當人達モ大變能ク事情ヲ諒解致シマシテ、我ガ神社ノ本質モ亦文部省ノ示シニ依ッテ能ク諒解シタ、爾來ソレ等ノ不祥事ハ起ラナイノミナラズ、是ハ時局柄ト申シマセウカ、諸々ノ機會ニ於キマシテ各種ノ基督教團體ハ非常ニ日本主義的、ト申シマス言葉ガ變デアリマスガ、日本化シマシテ、其ノ點大變ニ私共喜ンデ居ルヤウナ次第デアリマス

○塚本清治君 承リマスルヤウデアリマス

レバ安心ガ出來ル次第デアリマスルジ、或ハ昔ヨリモ良クナッタノデアリマス、日本化シタ、或宗派ハ日本化シタト解釋シテ宜シイカノヤウニ存ジマスルノデアリマスルケレドモ、先刻モ申上ゲマシタヤウニ、神社ニ参拜スルコト其ノ事ニ付テハ紛議ガアリマシタケレドモ解ケマシテ、今日デハ恐ラクドノ宗派ト信徒デモ、神社ニ参拜シナイト

云フヤウナコトハ無イト云フコトニナリマス、之ヲ拒ムト云フコトハ社會ガ許サナクナッテ居リマスカラ、ソレハ問題ニ致シマセヌガ、其ノ參拜ト云フコトハ、先刻モ申上ガマシタ通り無價值ノコトデアリマシテ、先ヅ第二段、第二次的ノコトデアリマスガ、根本ニ於テ神ノ存在ヲ前提トシテ祈ルト云フコトヲ果シテ認メテ居ルノカドウカ、宗教御當局ハ、日本ノ醇風美俗ニ反スルヤウナ教、教義若シクハ其ノ行爲ハ最早無クナタト云フヤウニ御説明ニナリマシタガ、私ハ先刻申上ガマシタ通り、醇風美俗ト云フ言葉ハ、廣ク取レバ神ノ存在ヲ前提トシテ祈ルト云フコトガ日本ノ醇風美俗デアリマセウケレドモ、私ハモット以上ノ信仰デアッテ、サウシテ其ノ日本民族性ガ建國以來繼續シテ今日ニ及ンデ居ッテ、又將來モ繼續スルデアラウ、又繼續セシムベキデアル、此ノ一種ノ信仰ハ日本ノ強ミデアリ、日本ノ道德ノ根源デアリ、サウシテ日本ノ繁榮ノ基礎デアル、而モ此ノ信仰、此ノ觀念ハ文明ノ進歩、科學ノ發達ト兩立シナイモノデナイ、立派ニ兩立シテ居ル、サウ云フ一種ノ獨得ノ信仰ハ日本ダケデアッテ、此ノ信仰心コソハ失フベキデハナイ、又失ハシムベキモノデナイ、醇風美俗以上ノ深イモノデア

ルト私ハ考モ致シ、サウ云フ言葉モ使ヒタイト思フ、又使ハナケレバナラスト思フ、果シテサウ云フ意味ニ於テ、サウ云フ神社ト云フ信仰ヲ許サナイト云フ宗教ハ全然無イデアリマセウカ、假ニソコ迄ノ根本論ハ論ジナイデ、神社ニ參拜セヨト言フカラ參拜ハ致シ、敬禮セヨト言フカラ號令ノ下ニ敬禮ヲスルト云フコト迄ハ是ハ行ハレテ居ルノデスガ、教義ノ根本ニ於テ果シテ日本ノ神社ヲ認メテ居ルデアラウカ、假ニ教義ソレ自身ニ於テ左様ナ信仰ハ認メナイノダト云フモノガアリマシタラバ、其ノ宗教ヲ信仰スル少クトモ日本ノ官吏ハ甚ダ官吏トシテ差支ヘル、ト申スノハ、態々申上ゲル迄モナク日本ノ官吏ト致シマシテハ、神社ニ或ハ場合ニ依ッテハ勅使トナリ、奉幣使ノ任ヲ奉ジテ神社ニ參拜シナケレバナラ、此ノ勅使若シクハ奉幣使ハ申ス迄モナク祈願文、祈禱文ヲ神ノ前デ讀ム、神ノ存在ヲ前提トシナイ宗教ヲ信ジツ、祈ル、或ハ祝詞ヲ讀ム、是ハ虚偽デアル、是ハ嘘デス、サウ云フノデハ少クトモ官吏ハ勤マラナイ、私ハ日本民族トシテハサウ云フ者ヲ一日モ置イテハナラスト思フ、第一官吏ガ勤マラス、サウシタ信仰ヲ許サナイト云フ宗教ガアツタナラバ、日本ノ國家ノ上ニ非常ナ、日

本ノ國民トシテ非常ナ缺格ニナル、サウ云フモノハ果シテナイデアリマセウカ、重ネテ其ノ確カナル事實ヲ御述ヲ願ヒタイ、政府委員デドナタデモ宜シウゴザイマス

○國務大臣(男爵荒木貞夫君) 今御述ノ此ノ宗教ニ於テ、其ノ教義ノ上ニ神社ヲ參拜シナイ、參拜ヲシテハナラナイト云フモノガアルカ、斯ウ云フ御尋ノヤウニ承ツタノデアリマスルガ、アッテハナラナイト私ハ信ジテ居リマス、又アルコトヲ許シテハナラナイト存ジテ居リマス、遡ッテ申上ゲレバ我が國ノ神社ハ帝國ノ神明ヲ奉齋シ、國家ノ祭祀トシテ敬神崇祖ヲ基礎トシテ茲ニ設立セラレタモノデアリマスガラ、宗教ノ圈外ニアルモノデアル、宗教ヲ以テ其ノ觀念カラ、假ニモ神社ト宗教ノ教義若シクハ其ノ宣布ノ間ニ於テ、只今ノヤウナコトガアッテハ相成ラヌコトデアッテ、然ル時ニハ憲法第二十八條ニ依ッテ宗教ノ上ニ制限ヲ加ヘナケレバナラスト斯ウ私ハ堅ク信ジテ居リマス、而シテ信仰ト今ノ宗教ノ問題ガ、可ナリ茲ニ複雑ナル關係ヲ有ツノデアリマス、宗教ハ固ヨリ信仰ヲ本體トシテ起ッテ居ルコトハ明カデアリマス、信仰ガアルカラト云フテ直チニ宗教デアルト私ハ考ヘナイ、信仰ニ對シテ、ソレヲ基トシテソコニ教義

ヲ作ル、之ニ依ッテ宣布ヲスル組織ヲ有ツタモノニ依ッテ、初メテ宗教ト云フモノノ基礎ヲ成スモノデアル、只今宗教團體法ニ依ッテ宗教トシテ認メラレルモノハ、此ノモノデアルノデアリマスカラ、神社ガ假ニ此ノ宗教團體ト、一部ノ者ニサウ云フ風ニ考ヘラレデモ、是ハ能ク其ノ點ヲ明カニセザルモノデアリマスカラ、私ハ誤リデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、サウシテ今後深ク日本ノ國體ト神社ト宗教トノ關係ヲ審カニシテ、日本臣民トシテノ宗教ヲ持ッテ行クナラバ、自ラソコニ明瞭ナ自覺ガ起ッテ來ナケレバナラス、ソコニ教育ナリ、此ノ宗教團體法案ノ運営ナリヲシテ、ソコヲ理解セシムルコトガ、今日、立派ナ活動ヲシテ行ク所以デハナイカ、サウ云フ風ニ、如何ニカシテ是ガ出來マスレバサウ促進シテ行カナケレバナラスト私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○子爵岡部長景君 今ノコトニチヨット關聯シテモウツ承リタイト思ヒマス、今ノ日本ノ祭祀ト言ヒマスカ、神祇ト言ヒマスカ、日本ノ神ト云フ觀念ト基督教ノ所謂神ト云ッテ居ル「ゴッド」ト云フ觀念トハ、全然違ッタモノダト思フノデアリマス、私ハ豫テ基督教デ神、神ト云フノ面白クナイ譯語デア

○小原直君 私ハ甚ダ不案内デアルカラ御尋スルノデアリマスルガ、此ノ法律デ規定セントスル宗教團體ハ、第一條ニ「神道教派、佛教宗派及基督教其ノ他ノ宗教ノ教團」トアリマス、此ノ所謂既成宗教ノ神道、佛教、基督教ノ外ニ今日日本ニドレ程ノ宗教ノ教團ガアリマスカ、ソレハ詰リ斯ウ云フ法律ヲ以テ規定ヲシヨウト云フノハ、寧ロ既成宗派ヨリモ、現ニ在ル其ノ他ノ宗教デ、

道ノ方ハ從來教派ト申シテ居リマスノデ教派ト云フ名稱ヲ使ヒ、佛教ノ方ハ宗派ト申シテ居リマスノデ宗派ト云フ名稱ヲ使ヒマシタ、同様ニ教派ト宗派ト同ジヤウナ團體、何ト申シマスルカ、全國の團體ト申シマスカ、包括的團體ト申シマセウカ、詰リ宗派デ申シマスレバ、天台宗ナラバ天台宗ト云フト、澤山ノオ寺ガ其ノ中ニ包括セラレ、教會ガ包括セラレ、教師、僧侶ガ包括セラ

擧ゲタノデゴザイマスガ、少クモト私ハ二十以上ハアルカト思ヒマス、ソコデ是等ヲ詮議致シマシテ、第三條ニ依ツテ設立ノ認可申請ヲシテ來ルナラバ、教團トシテ扱ツテヤリタイ、ソコデ最初ニ申上デマシタ通り、本質ガ教派、宗派ト教團トハ法上違ハナイノデアリマスケレドモ、ソレ／＼沿革ヲ重ンジテ佛教ノ方ハ宗派ト言ヒ、神道ノ方ハ教派ト申シタノデアリマスガ、基督敎ハ今度初メテ出來マス時ニ、教團ト云フ名前ヲ與ヘタノデゴザイマス、從ツテ今後長年見透シテ見ルト、或ハ國內ニ於テ新興宗教團體ガ突然ト起ツテ來ルコトガアリハセヌカ、或ハ新東亞建設ノ結果、「アジア」大陸ト我が國ノ關係ガ、不可分ノ關係ニ立チマス、支那ニ在ル宗教ガ遽ニ我が國ニ輸入セラレテ來ルモノガアリハセヌカ、其ノ他實例ニ徴シテ見マシテモ、外國ニアル宗教デ、我が國ニナイ所ノ宗教ガ入ッテ來テ、所謂教派、宗派ニ當ルモノヲ作りハシナイカ、サウ云フ場合ノ處置トシテ神道ハ教派ト、佛教ハ宗派ト言ハセル、其ノ他有ラユトルモノハ教團デ一切賄ツテ行キタイト、斯ウ思ッテ居ル次第デアリマス

○小原直君 御説明ハ分リマシタガ、私ガ御尋ネシタイノハ本法デ今後律セムトスル

宗教ニハ、既成宗教ノ神道、佛教、基督教ノ外ニ尙ドンナモノガ日本ニ行ハレテ居ルカ、ソレノ活動情況ガドンナデアルカ、サウシテソレガ教團等ヲ造ッテ居ルモノガドレ程ノ數ガアリマスカタ云フコトヲ御尋ネシタイ、例ヘバ回教デアリマスとか、支那ニアル大道教ノヤウナモノガ日本ニ於テ現ニ現ハレテ居ルガ、ソレ等デ將來教團等ヲ造リ得ベキ情勢ヲ持ッテ居ルモノガアルカト云フコトヲ御尋ネシタイノデアリマス

○政府委員(松尾長造君) 只今我が國ニゴザイマスル神道、佛教ハ別ト致シマシテ、教團ニナリ得ルモノハ今申上ゲマシタ基督教ナノデアリマスガ、其ノ他デハ直グ様教團ニナリマスデゴザイマセウト御答ヘシ得ルヤウナ團體ハナイト思ヒマスガ、御尋ニ依リマシテ直グ聯想致シマスノハ回々教デアリマス、是ガ支那大陸ニ於キマシテハ相當ノ勢力デアルヤウニ伺ッテ居リマシ、又世界全體デ通計致シマスルト、世界三大宗教ノ中ニ入ルサウデゴザイマシテ、相當ノ信徒數ヲ持ッテ居リマスノデ、纏テハ我が國ニ是以上入ッテ來ルモノデハナイカ、唯目下ノ現狀デ申シマス、教會ラシキモノヲ二ツ持ッテ居リマス、一ツハ神戸市、最近ニ於テ設立セラレマシタモノハ東京市

ノ代々木ニ一箇所設ケラレテ居リマス、併シ何分ニモ其ノ信徒ヲ調査致シマスルト、我が日本人ハ二三十名ニ過ギナイヤウデ、アラカタハ外國人デアリマス、外國人デアリマスケレドモ、ソレ等ヲ通計致シマシテモ五六百ニ過ギナイト云フヤウナ狀態デゴザイマスノデ、假ニ教團ノ認可申請ガゴザイマシテモ、是ハ相當慎重ニ考究スベキモノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○大塚惟精君 多年問題ニナッテ居リマスル宗教團體法ヲ御提出ニナッタト云フコトハ頗ル結構ナコトト思フノデアリマス、唯其ノ内容ヲ吟味致シマスルト、他ノ委員カラモ御批評ガアツヤウニ、積極的ノ分子ガ少イノデ、是デ十分ナル宗教的活動ヲ望ムコトハ出來ナイデハナカラウカト云フヤウナ疑問モ起ルノデアリマス、併シ宗教諸團體ニ對シテ宗教團體法ト云フモノガ法的基礎ヲ與ヘテ、一方ニ於テ保護スルト共ニ又監督ノ實ヲ舉ゲルト云フコトデ、之ニ依ッテ宗教諸團體ニ對スル法的基礎ヲ與ヘラレルト云フコトハ是ハ大變ニ結構ナコトト思フ、唯併シ此ノ法ガ出來タカラト云ッテ、宗教的活動ヲ直グニ法ニ依リ望ミ得ルトハ期待ガ出來ナイ、其ノ點ハ昨日他ノ議員カラモ述ベラレマシタ通り、現代ノ時局ニ照應

シテ文部當局ハドウカ日本ノ宗教ノ活動ト云フコトニ付テハ更ニ一層ノ御盡力ヲ唯此ノ際希望シテ置キタイト思ヒマス、日本ノ教育ト云フモノハ近時動モスレバ智的方面ニノミ流レテ、サウシテ德育ノ方面ニ於テ、或ハ人ト云フ方面ニ於テ缺クル所ガアルヤウナ聲ヲ聞クノハ、是ハ一方カラ考ヘマス、明治初年ニ教育ト宗教ト云フモノトヲ餘リニ分離セシメタ、サウシテ其ノ分離致シマシタ結果ガ、動モスレバ宗教ト云フモノヲ教育カラ無視シテシマフ、寧ロソレヲ伴ウテ併進ヲ奨メルノヲ、アベコベニ宗教ト云フモノヲ嫌フト云フヤウナ態度ヲ執ッタト云フコトガ、今日世人ノ遺憾ニ思フ點デハナイカト思フノデアリマス、ドウカ文部當局ニ於カレマシテハ、此ノ點ヲ御考ノ上デ宗教法案ガ通りマシタ上ハ、之ヲ本トシテ宗教的ノ活動ト云フコトニ付テ、更ニ一層御骨折ヲ願ヒタイト云フコトヲ此ノ際希望致シテ置キマスガ、諸

デ御尋致シタイノハ、宗教團體法ガ出來ルト云フコトハ大變結構ナコトデアリマスガ、結果トシテ考ヘテ見ルト、宗教上ニ日本ノ國體カラ一番大切ナコトハ神社、是ハ昨日或ハ今日モ澤山ノ御方々カラ御議論ガアツタノデアリマス、神社ヲ尊崇シ、祭祀ヲ重

ンズルト云フコトハ、日本ノ國體トシテ最モ必要ナコトデアアル、現ニ總理大臣ハ宗教一致ト云フコトヲ頻リニ御強調ニナッテ居ル、又大臣ニ就任セラレル前ニ、昨年ノ十月デアリマシタカ、十一月デアリマシタカ、平沼サンハ祭祀ト事業ト云フ立派ナ論文ヲ世間ニ御發表ニナッテ居ル、是等ハ日本ノ國體上宗教一致ト云フコトガ必要デアアルガ、是ハ祭事ニ付テノコトデアアルガ、個人カラ言ッタナラバ祭祀ト事業、御祭ト事業、是ガ一致シナケレバナラス、總テ各人ハ各、其ノ處ニ於テ事業ヲヤルニ付テハ、神人合一ノ態度デヤラナケレバナラスト云フ、極メテ嚴肅ナ論文ヲ御發表ニナッテ居ル、ソレ等ノ點カラ言ヒマシテモ、平沼内閣ガ出來タ以上ハ宗教團體法ハ固ヨリ必要デアアルガ、國家ノ要求スル所カラ申シマスレバ、モウ一ツ其ノ前ニ神社法規ノ整備ト云フモノガ、モウ一層早く必要ナコトデハナカッタウカト思フノデアリマス、神社ト云フモノハ日本ニ於テ宗教以上ノモノデアアル、或意味ニ於テハ國體即神社ト言ッテモ宜イカモ知レナイ、伊勢神宮ノ如キハモウ其ノ神宮ヲ御祭リスルト云フコトガ實ニ尊イ日本ノ國體其ノモノデアアル、從ッテ之ニ關スル所ノ法規ノ整備ト云フコトハ非常ニ必要ナコトデ

ノ整備ト云フコトハ非常ニ必要ナコトデ

アツテ、私ハ此ノ内閣ノ如キニ於テハ一番先ニ御ヤリニナラナケレバナラヌコトと思フノデアリマス、是ハ此ノ場合文部大臣トシテ御尋スルコトハ當ヲ得ナイと思ヒマスガ、國務大臣トシテ更ニ一ツ御考究ヲ願ヒ、又ソレニ付テ御考ガアレバ此ノ際承シテ置キタイと思ヒマス、神社法規ノ整備、又ソレニ對スル御用意ハドウ云フヤウニナッテ居ルカト云フコトヲ此ノ際、或ハ此ノ際デナクとも、外ノ機會ニデモ宜シウゴザイマスカラ、我々ハ此ノ宗教團體法ノ出タト云フコトヲ非常ニ喜ブト共ニ、モウ一ツ前ニ神社法規關係ノ整備ト云フコトガ先ニ出ナケレバナラヌト云フコトヲ申スノデアリマス、其ノ點ヲ一ツ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

○國務大臣(男爵荒木貞夫君) 誠ニ御尤ナ御尋デアリマス、丁度今神社局長ガ來テ居ラレマスカラ、今折角其ノ方面デモ急イデ居ルヤウデアリマスカラ、一應神社局長カラ御話申上ゲタ方宜イト思ヒマス

○政府委員(兒玉九一君) 神社法制定ノコトニ付キマシテハ、豫テヨリ内務省ニ於キマシテ、神社制度調査會ヲ設ケマシテ研究中デゴザイマス、事柄ハ勿論國體ノ本義ニ基クコトデアリマシテ、非常ニ慎重ナ態度ヲ執ッテ居ルノデゴザイマス、且又各般ノ事情

ヲ考慮致シマスルト、困難ナ關係ガ可ナリ多イノデゴザイマス、神社ニ關スル法制ヲ整備スルト云フ根本ノ方針ニ付キマシテハ、我々ドウシテモ之ヲヤラナクチャナラヌト思ッテ居リマスガ、果シテ如何ナル事項ヲ法律ト云フヤウナ形式デ定メ、或ハ之ヲ勅令ニ讓ル、又其ノ他ノ關係ノ法規デ以テ規定スルト云フコトハ、相當考慮ヲ要スルベキ問題デゴザイマシテ、神社ハ宗教ト違ヒマシテ、現在ノヤウナ位置ニアリマスルノデ、差當リノ問題ト致シマシテ、特ニ法律ヲ以テ至急ニ決メナケレバナラヌト云フ事項ハ實ハ餘リナイノデハナイカト、斯ウ思ッテ居リマス、併シナガラ神社制度一般ニ付キマシテハ整備セザルコトガ多イノデ、十分調査ヲ進メマシテ御期待ニ副フヤウニ致シタイト、斯ウ存ジテ居リマス

○大塚惟精君 内務省當局ニ於テモ、神社關係ノ法規ノ整備ト云フコトヲ必要ナコトトシテ、目下ソレニ對スル調査研究ヲ急イデ居ルト云フ御答辯ヲ得テ、頗ル満足スルノデアリマスガ、舊來ノ神社ニ對シテハソレゾレ慣例等モアリマス、ナカ／＼ムツカシイ問題モアラウト思ヒマス、又新クニ出來テ來ル所ノ神社ト云フヤウナモノモアル譯デアリマス、ソレデ一定ノ基準ト云フモノ

ヲ法制化シテ置クト云フコトハ、神社尊崇ノ上ニ於テ、新ナル神社、設クベキ新ナル神社ハ設置シ、又設クベカラザル所ノ神社ヲ排除スルト云フヤウナ上ニ於テ、法制ガ必要ダラウト思ヒマス、ドウカ是等ノ點ヲ十分ニ御考ニナッテ、宗教團體法ガ出來タ以上、神社關係方面ノ法規ノ整備ト云フコトニ付テ御考ヲ願ッテ……、此程度ニ此點ハ止メテ置キマス、次ニ宗教團體法ノ中デ私ガ一番大切ト思フ所ハ、昨日來モチヨットソレニ觸レテノ御質問モアリマシタガ、此ノ十六條、十七條ノ問題デアリマス、即チ宗教ノ教義ノ宣布、儀式ヲ執行或ハ宗教上ノ行事ト云フヤウナモノガ、安寧秩序ヲ妨ゲ又ハ臣民タルノ義務ニ背クトキニ、之ニ對スル主務大臣ノ制限、禁止或ハ業務停止、若シクハ團體ノ設立ノ認可ヲ取消スルト云フ此法條デアリマス、此法條ハ餘程強い力ヲ有ッテ居ラナケレバナラス、サウシテ其解釋ハ極メテ嚴格デナクテハナリマセヌケレドモ、私ノ質問ノ要旨トシテハ、物的施設ノ除却、排除ヲ含シテ居ルモノト解シマスガ、果シテサウデアリマスカ、ドウデアリマスカト云フ點デアリマス、即チ宗教ノ儀式ノ執行、宗教ノ教義ノ宣布、又ハ宗教上ノ行事ト云フコトハ、人ノ行爲ト

心得マスケレドモ、是等ハ人ノ行爲ト物的、例ヘバ形象、或ハ建築物ト併セテ、ソレ等ノ人ノ行爲ガ行ハレテ居ル、從テ法律上安寧秩序ヲ妨ゲ、又ハ臣民タルノ義務ニ背クト云フ場合ニ、主務大臣ガ制限禁止ヲ爲サルト云フ場合ニハ、其ノ人ノ行爲ト併セテ、此ノ物的施設ト云フモノヲ除却スルコトガ出來ナクテハ、目的ガ達セラレナイ、是ハ私ハ積極的ニ此ノ法條デ出來ルト解釋致シマスガ、如何ナモノデアリマスカ、其ノ點ヲハッキリト御確カメシテ置キタイ

○國務大臣(男爵荒木貞夫君) 御指摘ノハ或ハ奉齋ヲシテ居ルトカ、或ハ建築物トカ云フモノノコトデゴザイマスカ

○大塚惟精君 モウ少シハッキリ申上ゲマス、分リ易ク例ヲ申上ゲマス、安寧秩序ヲ紊ルヤウナ形象ヲ持ッテ來テ、サウシテソレヲ拜マセテ居ルト云フヤウナ場合ハ、ソイツヲ取除キヤセシメナケレバナライ、ソレガ安寧秩序ヲ害スルヤウナコトヲ皆ト一緒ニ其處デ說教ヲシ、皆ヲ集メテ、サウシテ其ノ建物其ノモノガ或意味ニ於テ又サウ云フ目的ニ使用サレテ居ル場合ガアリマス、ソレ等ハ其ノ建物ノ使用ヲ禁止センケレバナライ必要ガ起ッテ來ルト思ヒマス、ソレ等ノコトガ出來ル働キガ此ノ法條ニア

ルト思フ、私ハ積極的ニ解釋シテ居リマス
カラ……、是ハナゼ斯ウ云フ質問ヲ致シマ
スカト云フコトハ、ハッキリ確カメテ置ク必
要ガアルカラデアリマス、例ヲ申上ゲマス、
大正十年ニ彼ノ大本教ガ京都デ非常ニ繁榮
シタ、御承知ノ通りニ是ハ不敬事件、當時
ナカノ之ニ對シテハ手ヲ染メルコトガ出
來ナカッタ、京都ノ警察官憲ガ色々苦心慘澹
シテ久シキニ互ツテ調査ノ結果、此ノ教義及
其ノ宣布ノ行動ガ許スベカラザルモノトシ
テ、サウシテ屢、中央ト協議ヲ重ネタ結果、
漸クニシテ現總理大臣ガ檢事總長デ居ラレ
タ、其ノ檢事總長ガ強キ決心ノ結果斷乎ト
シテ彈壓ヲ加ヘタ、併シナガラ其ノ教師ハ
勿論、其ノ宗教團體ノ統轄者ト申シマスカ、
幹部ト申シマスカ、ソレ等ハ總テ拘禁ヲサ
レマシタケレドモ、信徒ハ其處ニ非常ナ澤
山ノ者ガ集ツタ、サウシテ所謂殉教者ノ態度
デ當時ノ教祖ト申シマスカ、是等ノ幹部ノ
無罪放免ヲ祈禱スルト云フ名ノ下ニ、
實ハ其ノ許スベカラザル所ノ教義ノ宣
布ガ行ハレテ居ッタノデアリマス、是ハ
斯ウ云フ宗教團體法ト云フモノガアリ
マシタナラバ、當然ソレノ働キデ、文
部省ノ御主管デ處置ガ執レルダラウト思フ、
何ニモナイ、從ツテ文部省ニ於テハ手ヲ御觸

レニナルコトハ出來ナカッタ、遂ニ内務省ノ
方ニ於テ此ノ問題ヲ取上ゲテ、サウシテ非
常ナ決心ヲ以テ警察、消防ト云フヤウナモノ
ヲ多數ノ動員ヲ致シテ、ヤット之ヲ禁止スル
實ヲ舉ゲルコトガ出來タ、其ノ當時ノ苦心
ハ大變ナモノデアアル、又騒ギモ大變ナモノ
デアアル、物的建設物ノ破壊ト云フコト、ソ
レハ大正十年ノコトデアリマスケレドモ、
サウ云フコトハ度々アルベキコトデナイコ
トデアリマスケレドモ、新タニ出來テ來
ル所ノ宗教ニ對シテハ、其ノ届出ヲシ認可
ヲ受ケル時ニ、教義其ノ他ニ於テハ間然ス
ル所ガナイ、御認可ニナツテ差支ナイモノデ
アツテモ、アトニ變化シテ茲ニ謂フ所ノ安寧
秩序ヲ妨ゲ、又ハ臣民タルノ云々ト云フモ
ノガ出來テ來ル、サウ云フ場合ニハ堂々タ
ル建設物等ガ出來、又多數ノ信者ト云フヤ
ウナモノモ集ツテ、サウシテ餘程強イ國家ノ
力ヲ以テシナケレバ其ノ行爲ヲ完全ニ禁止
シ、制限シ、除却スルト云フコトガ出來ナ
イノデアリマス、宗教問題ニ付テハ、今モ
私が申シマシタ通りニ場合ニ依ルト誤ツタ
ル殉教精神ト云フモノ、是ハ非常ニ強イ、
ドウシテモ其所ヲ動カナイ、斯ウ云フ風ニ
ナル、曾テ伽藍ヲ燒キ、或ハ佛像ヲ難波ノ
堀江ニ投ジタト云フヤウナコトデ非常ナ爭

ヲナシタ、是ハ今日カラ考ヘレバ佛教ニ付
テハ最早我々ハ何物デモナイト云フ風ニ考
ヘマス、或ハ佛骨ノ表ヲ上ツテ潮州ニ貶セラ
レルト云フヤウナコトモ、今日カラ考ヘテ
見ルト何デモナイコトノヤウデアリマス、
新タナル所ノモノニ付テハ、澤山心配セン
ケレバナラヌヤウナ事例ガ無キニシモアラ
ズ……、速記ヲ止メテ……

○委員長(伯爵柳原義光君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(伯爵柳原義光君) 速記開始

○大塚惟精君 以上ノヤウナ實例ヲマア申
上ゲテ、サウシテ此ノ法文ノ解釋ヲ念ノ爲
ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(男爵荒木貞夫君) 此ノ罰則
ガ、取締ノ性能ガ、働キガドノ邊ニ迄及ブ
カト云フコトト同時ニ、既設若シクハ新興
宗教ニ對スル弊害ノ取締ト云フヤウナ一括
シテ御話ヲ承ツタノデアリマス、此ノ條項ハ
宗教ノ本質カラ是ハ御承知ノヤウニ多種多
様デ、只今御引例ノ誠ニ笑止ノヤウナ話モ、
是モ一ツノ信仰ト云フカ迷信ト申シマスカ、
其ノ方面カラ來ルノデ、人心ノ信仰ニ對ス
ルコトハ餘程慎重ナ態度ヲ執ツテ、大キナ政
治ノ上ニ運用シナケレバナラヌト、斯ウ云
フ風ニ考ヘマスノデ、出來得ル限り今迄信

仰ヲ以テ其ノ歸趨トシテ居リマシタ總テノ
習慣又儀式、之ニ伴フ所ノ設備等ハ出來得
ル限りマア尊重シテ行キタイ、而シテ其ノ
信仰ノ中心ヲ破壊シナイヤウニシマシテ宗
教ヲ活躍サシテ行カウ、併シナガラ段々世
ノ中ニモ御話ニ出テ居リマスルヤウナ物的
問題ニ對シテモ、弊害ノ大キイ所ハ豫メ之
ニ警告ヲ發シテ、又憲法二十八條ノ臣民タ
ルノ義務、安寧秩序ヲ害スト云フヤウナ所
迄及ベキ虞ガアレバ、未然ニ之ヲ是正シ、
若シ其所ニ到達シマスルナラバ、認可取消
ノ方法ヲ以テ、一切ヲ取消シテ禁止ヲスル
ト云フヤウナ方法ノ運用ニ行キタイト、斯
ウ考ヘテ居リマス

○大塚惟精君 大臣ノ御氣持ハ能ク分リマ
シタ、私ノ心配シテ居ルヤウナ點ハ十分心
配ノナイヤウニ取締ツテ呉レルト云フコト
ノ御決心ト思ヒマスカラ、能ク了承致シマ
シタガ、唯併シ此ノ法文ハ極メテ冷酷嚴密
デアリマスカラ、一應事務當局ノ方ニハッキ
リト御尋シテ置キタイト思ヒマスガ、政府
委員ノ方カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、
此ノ十六條ノ制限禁止ト云フヤウナモノハ、
今申ス如キ場合ノ物的施設ヲ、必要アル場
合ニ除却セシメルコトヲ含ムヤ否ヤト云フ
問題デアリマス、是ハ宗教局長カラ御答ガ

出來レバ御答ヲ願ヒタイ、若シ必要ガアレ
バ司法當局ノ之ニ對スル所ノハッキリシタ
解釋ヲ承ツテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(松尾長造君) 十六條ニアリマ
ス制限禁止ト申シマスコトニ付キマシデハ、
私共ノ考デハ詰リ教義ノ宣布、儀式ノ執行、
或ハ色々ノ行事ガアリマスル中ニ、全體ガ
安寧秩序ヲ紊ストカ、臣民タル義務ニ背ク
ト云フコトハ、事實能ク見マスルト或部分
ダケガ安寧秩序ヲ紊ストカ、臣民タル義務
ニ觸ハルト云フヤウナ場合ガ多イノデアリ
マス、其ノ部分ダケヲ制限ショウト云フヤ
ウナ考デアリマス、禁止ノ方ハ或才儀式ガ
アル、此ノ儀式ガドウモ安寧秩序ヲ紊ス、
或ハ臣民タルノ義務ニ背ク、此ノ儀式ダケ
ヲ禁止ショウト云フ、斯ウ云フヤウナ考デ
アリマシテ、此制限ノ禁止ニ付キマシテ、
物的施設却迄ハ考ヘテ居ナイノデアリマ
ス

○大塚惟精君 一應ソレダケヲ承ツテ置キ
マシテ、私ハ質問ヲ是デ止メテ置キマス
○子爵大河内輝耕君 只今大塚君カラ非常
ニ有益ナ御質問ガアツテ、私モ大變ニ得ル所
ガアリマシタ、此ノ十六條、十七條ノ所ハ
サウ云フコトハ注意シテ研究シナケレバナ
ラナイト思ヒマスガ、一般ノコトトシテ

一ツ伺ヒタイノハ、大塚君ノ問題ニ觸レラ
レタノデスガ、宗教ヲ政府ガドウ見テ居ル
ダラウカト云フコト、詰リ宗教ト云フモノ
ハ必要ノモノダト云フコトハ、是ハ御認メ
ダラウト思フ、併シ之ヲ如何ニ助長シテ行
クカト云フコトニナルト、ナカ／＼信教ノ
自由トカ何トカニ引懸ルノデ容易デハナイ、
實ハ一個ノ御意見ナドヲ引張ツテハ惡ウゴ
ザイマスガ、荒木大臣ガ宗教ニ付テ御書キ
ニナツタモノヲ私ハ其ノ當時敬讀致シテ、今
モ斯ウヤツテ持ッテ居ルノデアリマス、全ク
其ノ通りデアリマス、大乘禪ノ昭和十年ノ
六月號ニ出テ居ル、斯ウ云フ御考ナラバ、
實ニ我々本當ニ有難イ、併シ是ハ一ツ實行
ヲヤツテ戴カナイト困ルノデス、我々モ多少
此ノ方面ニハ經驗ヲ持ッテ居リマスガ、實ハ
教師ハ澤山アルノデス、ヤラウト云フ人ハ
澤山アル、アルガ、皆テ縁ナキ衆生ハ度シ
難シデ、ナカ／＼口ヘクッ附イテ行ク人ガ
ナイノデス、是ハ宗教ノ言葉デ言ヘバ菩提
心ガ弱イノデ、モウ一ツ言ヘバ、無常觀ガ
無イノデス、サウシテ菩提心ガ弱イカラ、
ヤラナイダケノ話デ、菩提心ノ弱イ者ニ
ヤツタツテ駄目デアル、菩提心ヲ強クスル方
法トシテハ色々アリマセウケレドモ、モウ
少シ教育ノ方面カラモ多少ハ入ッテ戴キ

タイト思フノデス、自分デ何モ案ガアリモ
シナイノニ伺フノモ恐縮デアルガ、案トシ
テハ幾ラモアリマス、アリマスケレドモ、
此處ニ一々列ベ立テルコトモナンデスガ、
先ヅ政府ノ御考ヲ一ツ伺ッテ見タイと思フ
デス、信教ノ自由トカ色々關聯シテ來マス
カラ、是ハ餘程ムツカシカラウト思ヒマス
ガ、ドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ、
先ヅ大臣ノ御考ヲ伺ッテ、尙具體的ノコトニ
付テハ宗教局長カラ伺ヒタイ

○國務大臣(男爵荒木貞夫君) チョット御
話ノ要旨ガ分リマセシタガ……

○子爵大河内輝耕君 少シ申上ゲヤウモ惡
カッタカモ知レマセヌガ、宗教ヲ助長サレル
ト云フコトノ御考ハ能ク分ッテ居ル、居ル
ガ、ソレヲ如何ナル方法ヲ以テオヤリニナ
ルカ、其ノ事ヲ承リタイ

○國務大臣(男爵荒木貞夫君) 今大塚サン
カラモ御話ガアリマシタヤウニ、一方ニ於
テ此ノ法案デ基礎ヲ固メマシテ、他方ニ於
テ助長シ、若シクハ之ヲ活躍スルコトハ一
段ト別ナ方式ヲ以テ考ヘテ行カナケレバ出
來ナイト考ヘテ居リマス、ソコデ初メテ私
共ノ考トシマシテ、是カラ先ノ運用ノ方ニ
入リマスケレドモ、教育ニ依ル所ノ信仰心
ト云フコトヲ兎ニ角喚ビ起シマシテ、今日

果シテドレダケノ人ガ信仰シテ居ルカト云
フコトガ大キナ問題ダラウト思フ、教育ノ
方面カラ殊ニ先程ノ神社ノ問題ニモ觸レル
ノデアリマスガ、日本人トシテ日本國體ヲ
立派ニ體得シタ教育ガ茲ニ興レバ、自ラ信
仰ニ入ッテモ、神社ト今ノ宗教ノ關係ト云フ
ヤウナコトガ、日本臣民トシテハ行ハレル
ノデハアルマイカ、サウ云フヤウナ方面カ
ラモ一ツ教育ノ方面カラ考ヘテ見ネバナラ
ズ、又活動機關トシテハ別ニ組織モ中央ニ
於テ考ヘテ見ナケレバナラヌコトト考ヘテ
居リマス、サウシテ此ノ法案ガ出來テ、之
ニ依ッテ其ノ位置ガ確定ヲ致シマスルト、淫
祠邪教其ノ他ノモノガ、届出……教義モア
リマスシ、奉齋主神モ皆アルノデアリマス
カラ、之ニ依ッテ十分ニ選擇モシ、或ハ認可
ニ對スル場合ノ警告モ出スコトガ出來ルト
云フコトニシマシテ、基礎ヲ固メテ置イデ、
他方此ノ助長ヲスルコトガ必要デアル、同
時ニ新興宗教ガ……或ハ是ハ百年カ千年ニ
一人カ知ラスノデアリマスガ、サウ云フヤ
ウナ場合モアリトセバ、是ハ防止スル限リ
デナイノデアリマスノデ、此ノ二十三條ニ
於ケル結社トシテ取敢ズ此ノ働キヲスル、
斯様ニシテ取敢ズ人間トシテノ信仰心ヲ何
處ニ求メ、而シテ日本臣民トシテドウ云フ

風ナ所ニソレヲ確信ヲシテ持ッテ行クカト云フコトヲ、取敢ズ教育ノ方面若シハ宗教ノ方面ニ於テモ御考ニナルヤウニシテ助長シテ行ツタラ宜シイカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 大體ニ於キマシテ仰シヤルコトノ御趣旨ハ能ク分リマシタ、政府委員ニ伺ヒマスガ、今ノヤウナ大臣ノ御方針誠ニ結構ダト存ジマスガ、之ヲ實現シマスニハ、學校ヲ相當ニ利用シナケレバナリマスマイ、教育ノ中ニ信仰心ノ必要ナコトヲ織リ込ンデ行カナケレバナライト思ヒマス、色々困難ナ問題モアラウト思ヒマスガ、ソレハ是非必要ニ存ジマスシ、是モ實行上ノ問題トシテハナカ／＼困難デスケレドモ、健全ナ宗教團體ニ對シテハ布教其他ノ……宗教團體ト言ハナクテモ個人デモ宜イ、相當ナ補助ヲスルコトガドウシテモ必要ナコトデアル、何デモ金ヲ貰フト云フ風デ、非常ニ汚ク聞エマスガ、サウ云フ意味デナイ、政府ガ附イテ助長スル以上ハ、ソレ位ノコトハ宜イト思ヒマス、大シタ金ハ要リマセス、ソレハモウ商賣スル人トハ違ヒマスカラ、僅カナモノデ宜イノデアリマスガ、ソレニシテモ、無クテモ困ル、ソシナヤウナ關係デ、具體的ニドウ云フ風ニ

御考ニナツテ居リマセウカ、文部省トシテハドンナ風ニオヤリニナル御積リデアリマスカ

○政府委員(松尾長造君) 具體的ノ御話ヲ御求メニナツタノデアリマスガ、精神ハ只今大臣ノ仰セニナリマシタ次第デ、其ノ御精神ヲ承ケマシテ、私共ト致シマシテハ、宗教ヲシテ彌、本然ノ使命ノ下ニ活動ヲ十二分タラシメタイト云フ考カラ致シマシテ、平素努力致シテ居リマスガ、本法案ガ成立致シマスルト、之ヲ基礎トシテ更ニ進メテ見タイト思ッテ居リマス、考ハ何ト申シマシテモ我が國ニ於ケル宗教團體ノ活動トシテ第一ニ必要ナノハ、日本精神ノ涵養ト申シマスルカ、此ノ點ニ付キマシテハ現ニ講習會ヲ開イタリナドシテ、宗教家ノ指導ハ致シテ居リマス、ソレカラ惡思想ニ對スル對策ヲ十分ニヤルヤウニ準備ヲスルヤウニ要求ヲ致シテ居リマス、ソレカラ非常時局ノ認識等ニ付テモ怠リナクヤル、是等ニ付キマシテモ文部省主催デ宗教教師ノ講習會ヲ開イタリ致シテ居リマスガ、今後モ一層ソレニ倍加シテヤリタイト存ジテ居リマス、其ノ外宗教團體ガ色々ノ學校等モ仰セノ通り持ッテ居リマス、從ッテソレ等ノ教學ノ刷新等ニ付キマシテモ十分ナル留意ヲ拂フヤウ

ニ致サレタイト存ジマス、ソレカラ何ト申シマシテモ宗教團體ガ活動致シマスルノニハ、其ノ前線ニ於テ働ク者ハ宗教教師デアリマスノデ、宗教團體ノ活動ノ能率ガ上ルノモ下ルノモノニ宗教教師ノ資質如何ニ關係致シマスルコトト存ジマスルノデ、ソレ等ニ付テノ資質ノ向上ニ十分留意スルヤウニ、出來得ル限り文部省ト致シマシテモ之ニ助力ヲ拂フ積リデ居ルノデゴザイマス、ソレカラ特殊布教ト云フノガ能ク言ハレルノデアリマシテ、特殊ノ相手方ニ對スル布教、マア例ヲ申上ゲレバ、刑務所ニ行ッテ布教スルトカ、或ハ感化院ニ行ッテ布教スルトカ、或ハ工場鑛山等ニ入り込ンデ布教スルトカ、斯ウ云ツクヤウナコトモ現下ノ世情ニ於テ非常ニ必要デアルト認メラレマスルノデ、是等モ獎勵ヲ致シテ居リマス、其ノ他各般ノ社會事業ニ付テモ随分ヤッデ居ルヤウデアリマスガ、此ノ上トモニヤリタイト考ヘテ居リマス、宗教教育ノ點ニ付キマシテモ文部省トシテハ相當留意シタ積リデ居ルノデアリマシテ、昭和十年ト心得マスガ、全國ニ依命通牒ヲ發シマシテ、宗教教育ノ重要性ニ付テモ説キ聽カシタヤウナ次第デアリマス、併シ是等ノコトヲヤルニ致シマシテモ、仰セノ通り矢張りお金ガ相當掛リ

マスノデ、現在デモ宗教團體ハ相當ノ金ヲ使ッテ居ルヤウデゴザイマスガ、矢張り補助金ト云フヤウナモノガアリマスレバ、極ク僅カナ、零細ナ補助金デアリマシテモ、受ケル方カラ言ヘバ、非常ナ勵ミニモナラウカト考ヘマスノデ、私共ノ考デハ本年度ノ豫算ニハソレヲ要求スルコトガ出來ナカッタノデアリマスケレドモ、追々ト一ツソレ等ノ方面ニ對シテモ豫算ヲ要求致シマシテ、獎勵ノ途ヲ講ジタイト實際的ニハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 宗教教育ト云フコトニ御留意ダト云フコトデ、誠ニ宜イノデアリマスケレドモ、ドウモ我々局外者カラ見ルト、一向徹底シマセズデ、ドウモ宗教心ハ實際日本人ハ弱イデス、各種ノ方面ニソレガ崇ッテ來ル、ソレトドウモ或ハ何カ一般ニ國民ヲ安ク見テ居ル、サウ云フ意味デハナイノデスガ、何分ニモ國教ト云フモノガナイカラ、政府ガ思ヒ切ッテアレナイ、コシナコトカラ來タンデセウケレドモ、ソコハソレトシテ、宗教教育マデヤッテ行カウト云フ迄文部省ガ決意シタ以上ハ、モウ少シヤリ方ガアリハシナイカ、餘程前ニ依命通牒ヲ一ツ出シタ位デナク、モウ少シ教育家ノ大家ガ先ニ立ッテ信仰心ヲ起スヤウニ全

國へ持つて行ッテ説イテ歩イテモ良シ、或ハ文部大臣ガ行カレタ時ニサウ云フコトヲ鼓吹サレテモ良イ、有形無形色々ヤリ方ガアラウト思ヒマスケレドモ、モウ少シサウ云フコトニ努力サレタラドウデスカ、ソコハドンナ考デセウカ

○政府委員(松尾長造君) 只今依命通牒ノコトヲ申上ゲタノデスカ、實ハ是ハ御承知ノ通り學校教育ニ關スルコトデゴザイマシテ、明治三十二年カト心得マスガ、文部省カラ訓令ガ出テ居リマシテ、其ノ訓令ガ少シ解釋ガ行キ過ギテ居リマシテ、只今ノ處從來ノ關係ガ學校教育ト宗教トガ本當ニ乖離シテ居リマシタノデ、ソレカラ是正スル意味ニ於テ一宗一派ニ捉ハレザル宗教ノ講演トカ云フヤウナモノニ、所謂情操教育上非常ニ大事デアルカラ、學校ニ於テ留意スルヤウニト、斯ウ云フヤウナ通牒ヲ發シタ譯デス、其ノ他ノ方面ニ於テ實際文部省デヤッテ居リマス所デハ、此ノ社會教育ノ方デ各種ノ施設ニ宗教ニ關スル講座學科等ヲ設ケテ、非常ニ歡迎バレテ居ル現況デゴザイマス、ソレカラ何ト申シマシテモ、宗教教育ニ付テノ識者ノ意見ヲ聞キマス、之ヲ徹底サセルニハ、學校教育デモ社會教育デモイカスノダト言ハレルノデアリマス、本當

ノ所ハ矢張り家庭教育デナケレバイケナイ、從ッテサウ云フ所ノ識者ノ意見指導ニ依リマシテ、文部省ニ於キマシテ、家庭教育指導者講習會等ヲ各地デ催シテ居リマスカ、其ノ際ニ宗教教育ニ付テハ相當留意シテ居ルヤウニ相成ッテ居ル次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 尙此ノ點ハ文部省ニ於テ、ドウゾ宗教法案ノ成立ヲ機トシテ十分御研究ニナッテ、サウシテモット、ドウセ折角御ヤリニナッタノデアリマスカラ、積極的ニ能率ガ上ルヤウニヤッテ戴キタイト思ヒマス、大臣ニ御願ヒ致シマス

○委員長(伯爵柳原義光君) 本日ハ此ノ程度デ散會致シマシテ、明日ハ朝本會議ガアルヤニ承ッテ居リマスカラ、明日ハ午後一時半カラ再ビ此處デ開會致シマス、本日ハ是デ散會致シマス

午後三時五十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長	伯爵柳原	義光君
副委員長	男爵松岡	均平君
委員	公爵一條	實孝君
	侯爵細川	謹立君
	侯爵久我	通顯君

子爵大河内輝耕君

子爵岡部 長景君

子爵舟橋 清賢君

男爵千秋 季隆君

小原 直君

岡 喜七郎君

塚本 清治君

下村 宏君

男爵北島 貴孝君

田所 美治君

大塚 惟精君

久保市三郎君

仲田傳之鬆君

國務大臣

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

政府委員

內務省神祇局長 兒玉 九一君

大藏政務次官 松村 光三君

營繕管財局理事 江口 順一君

文部省宗教局長 松尾 長造君

教學局長官 菊池豐三郎君

貴族院宗教團體法案特別委員會會議
事速記録第一號正誤

宗教團體法案特別委員會會議事速記録第一號第八頁三段目第十六行(速記開始)ノ一行ハ誤ニ付削除ス

昭和十四年一月二十六日印刷

昭和十四年一月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局